

桐壺

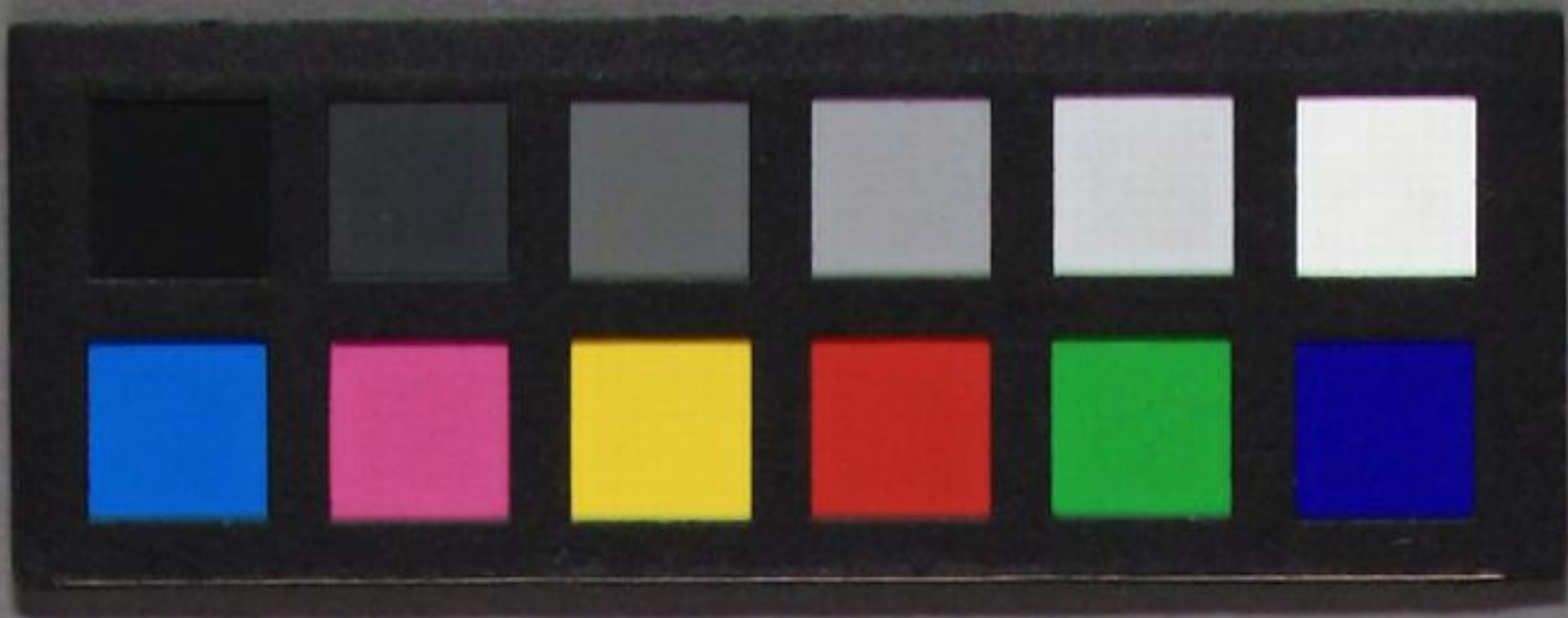
秀秋子  
風ふりて  
重隆  
在市川  
志河  
あき

曲入園

正

佐野喜





簞木 二

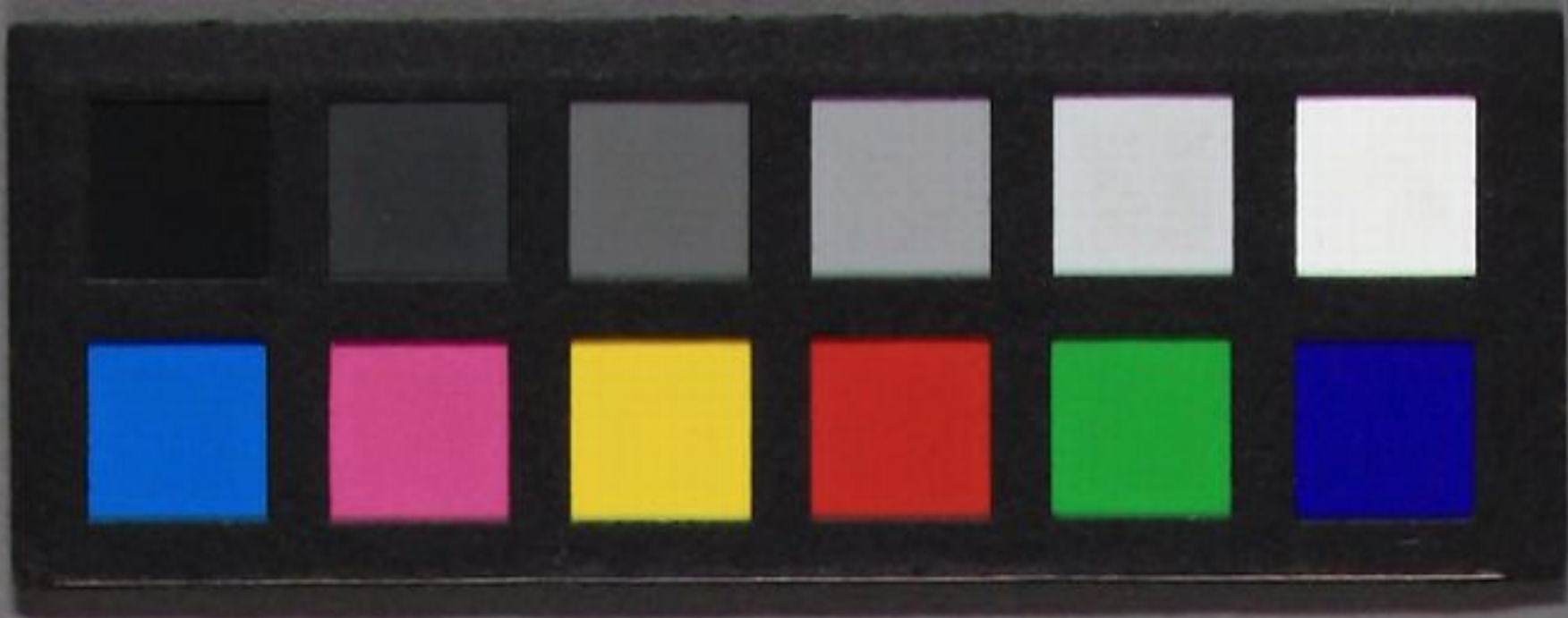
よと浦の  
みるあかり  
あまの  
かみ  
出るる  
ゆきあ  
ゆきあ  
真之

佐野喜

豊多田五

正





空蟬 三

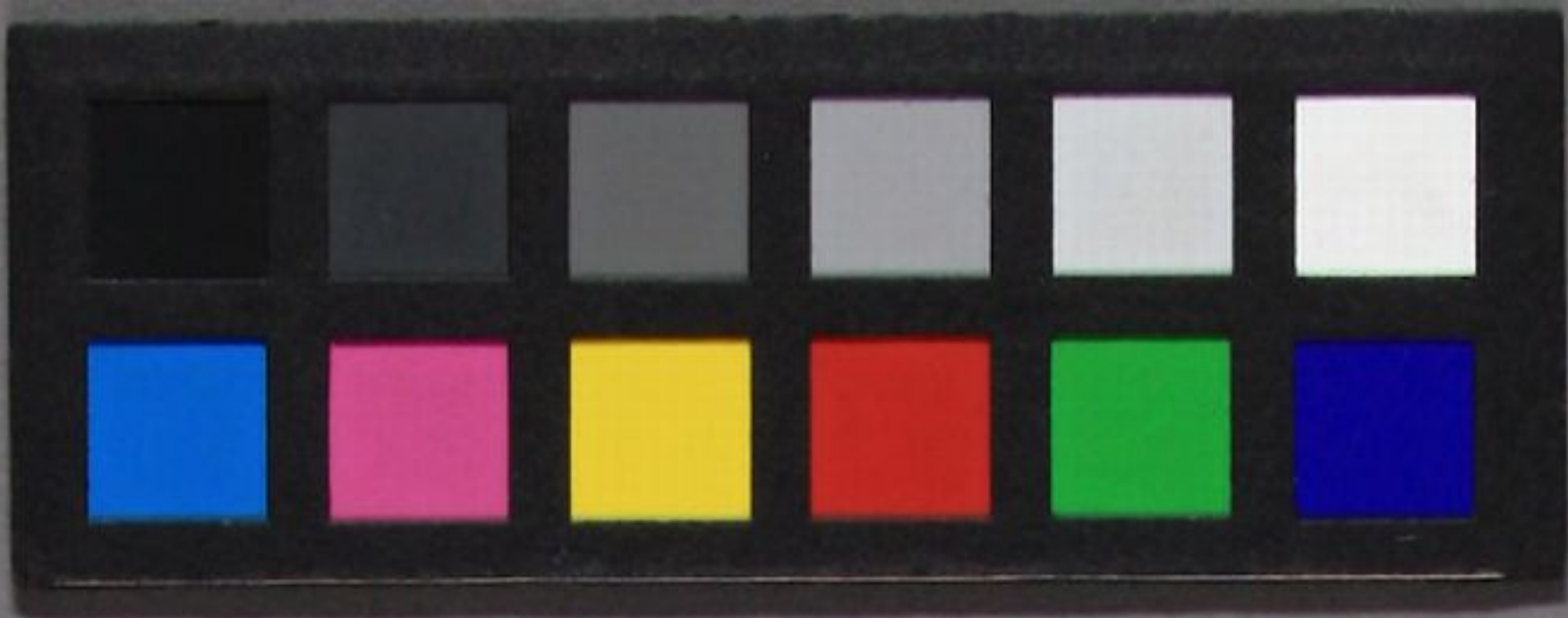
うたせりの  
よみぬけの  
あつかり  
人あはれ  
おとよの  
熱田  
正雄



曲上園包  
正

佐野喜





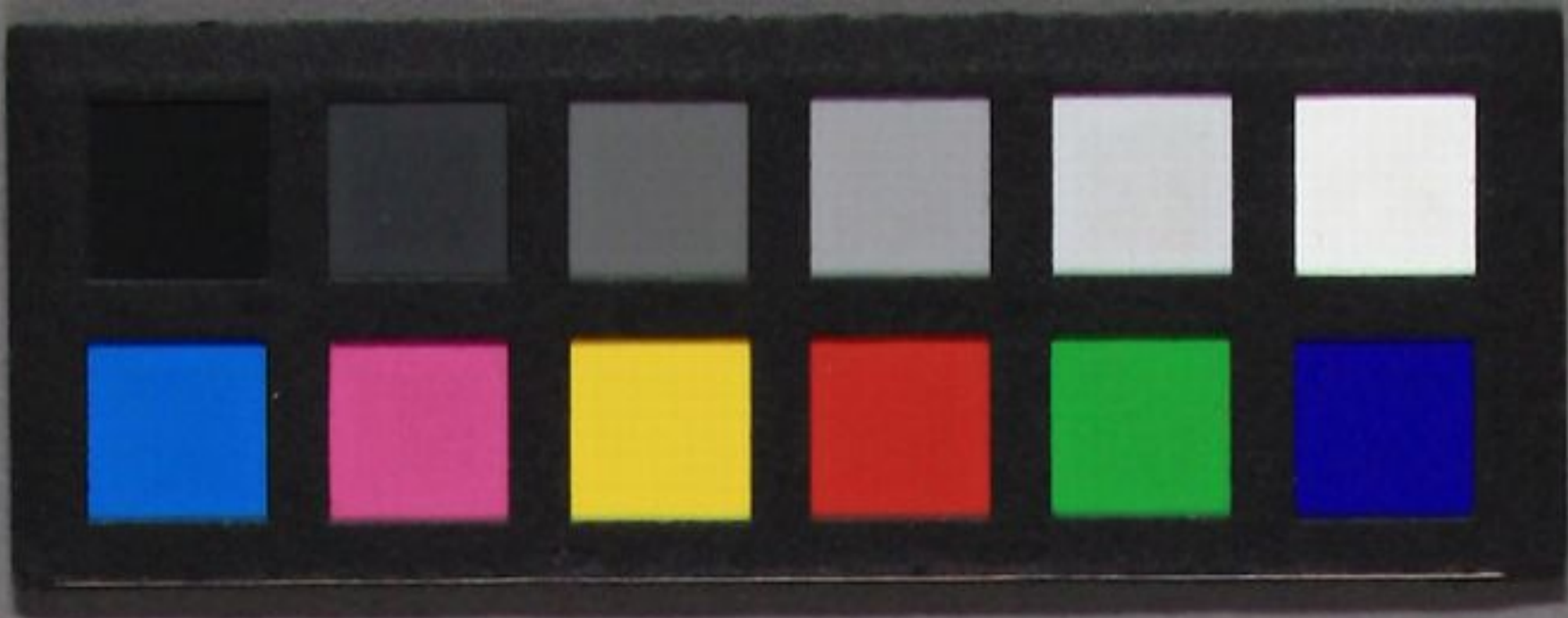
夕  
顔  
四

ふきぬく  
いふく  
かやり火の煙もる  
中結夕子平の花  
浪石庵有門

豊  
國  
包

佐  
野  
喜





若紫五

むさしの  
花むさしの  
うらむさし  
ふたむさし  
似るむさし  
富貴子

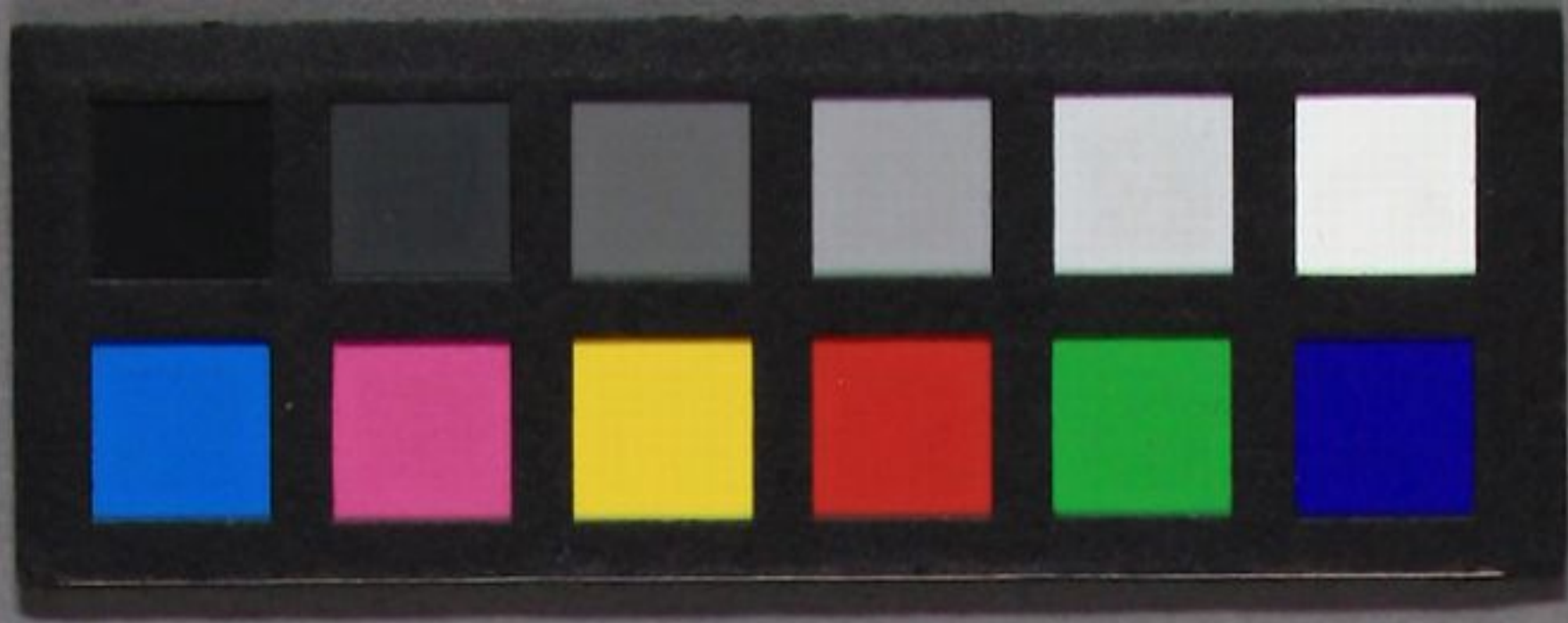


曲多國丸

三正

佐野喜





未摘花  
六

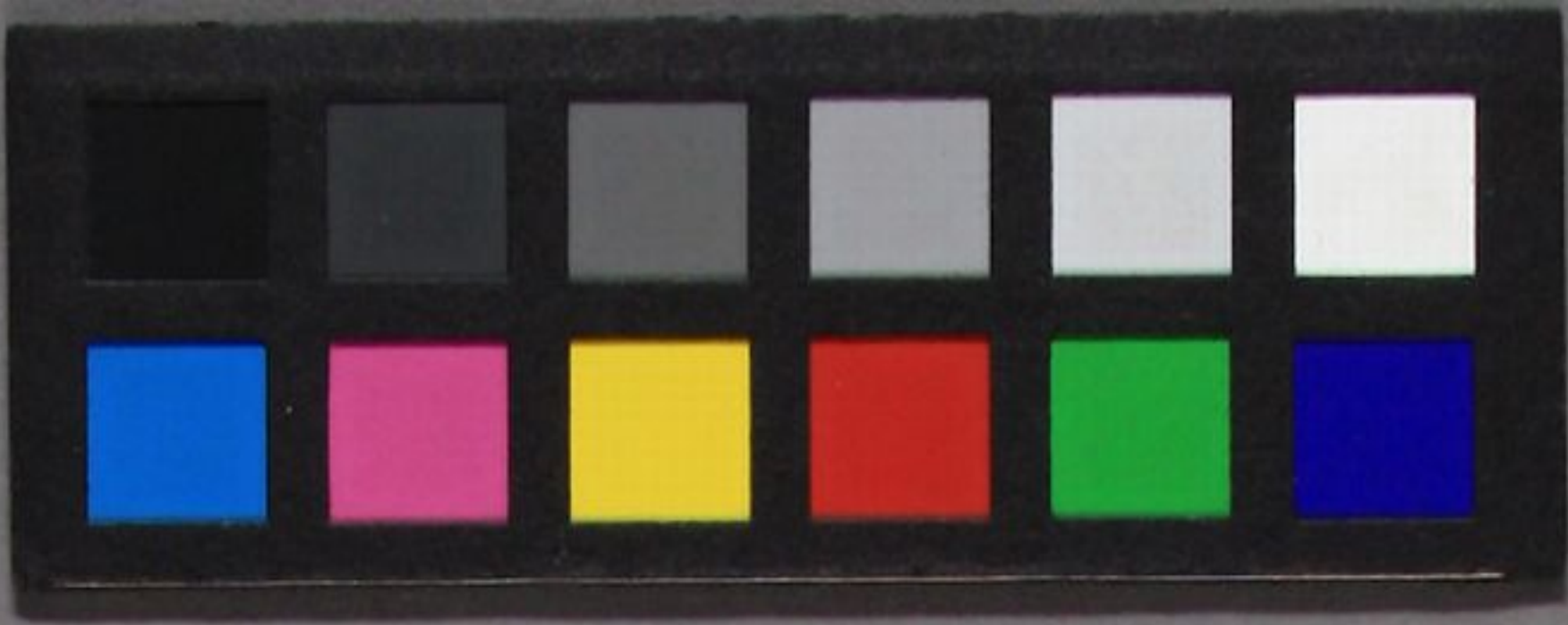
あはれ  
ふりよけりぬる  
ふらふら  
あはれ  
あはれ  
あはれ  
あはれ

富門

佐野喜

曲五國





紅葉賀  
七

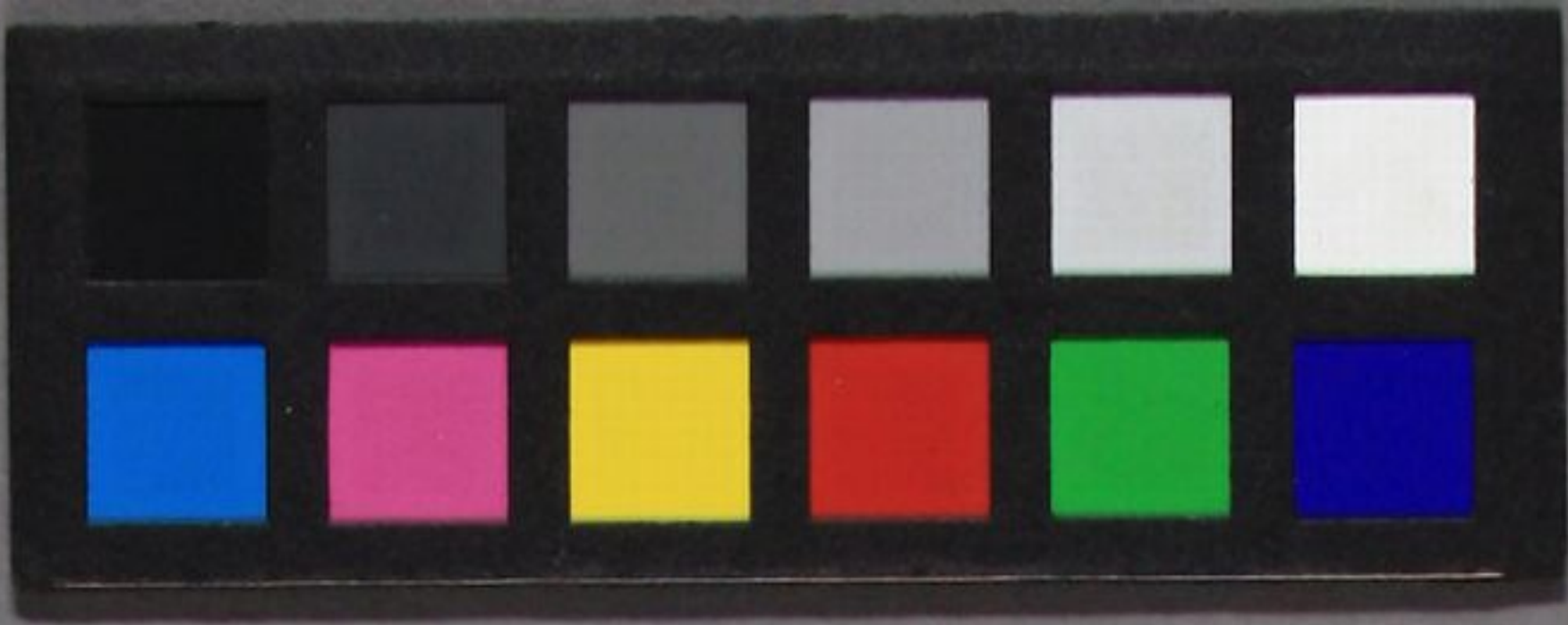
科野  
長岡布留雄

物忌の  
袖  
九

佐野喜

曲五同出





花  
宴八

よるも終  
かみ先みりぬ  
やよひの所  
月のかつらも  
おくりりし  
系條楼志考

曲多國

福

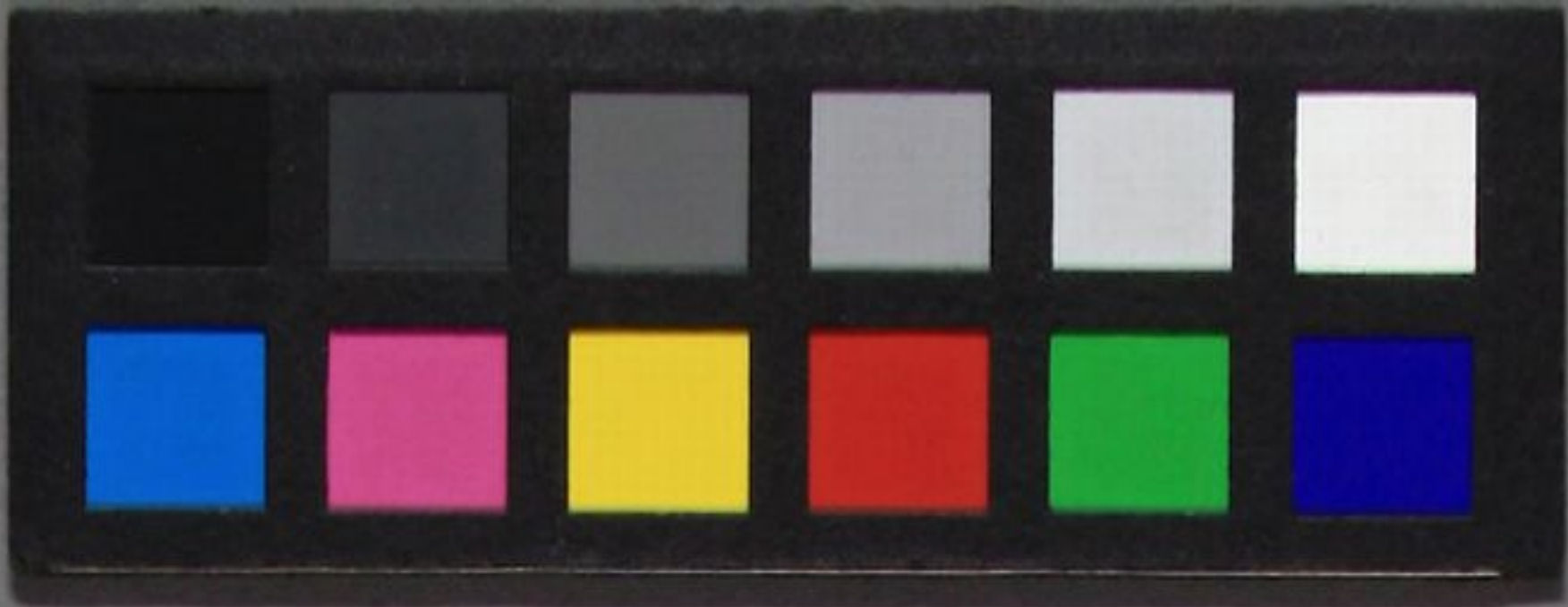
松

山

佐野喜







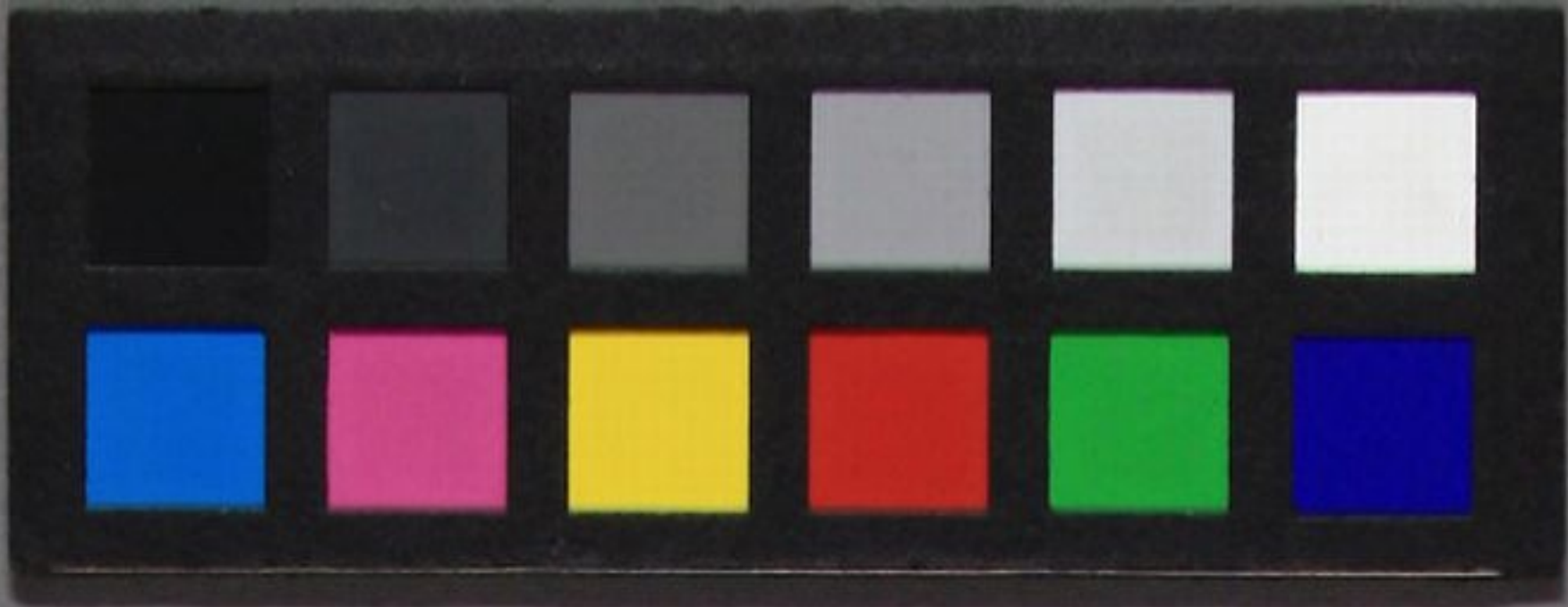
葵  
九

かきつるあるま  
家もきりけむ  
尚方堂書後

佐野

豊國丸





柳

十

柳をまや 清樹  
 木葉のあやみ  
 ぬきよささぬ  
 袖をあそびて  
 先にゆく  
 ら舞

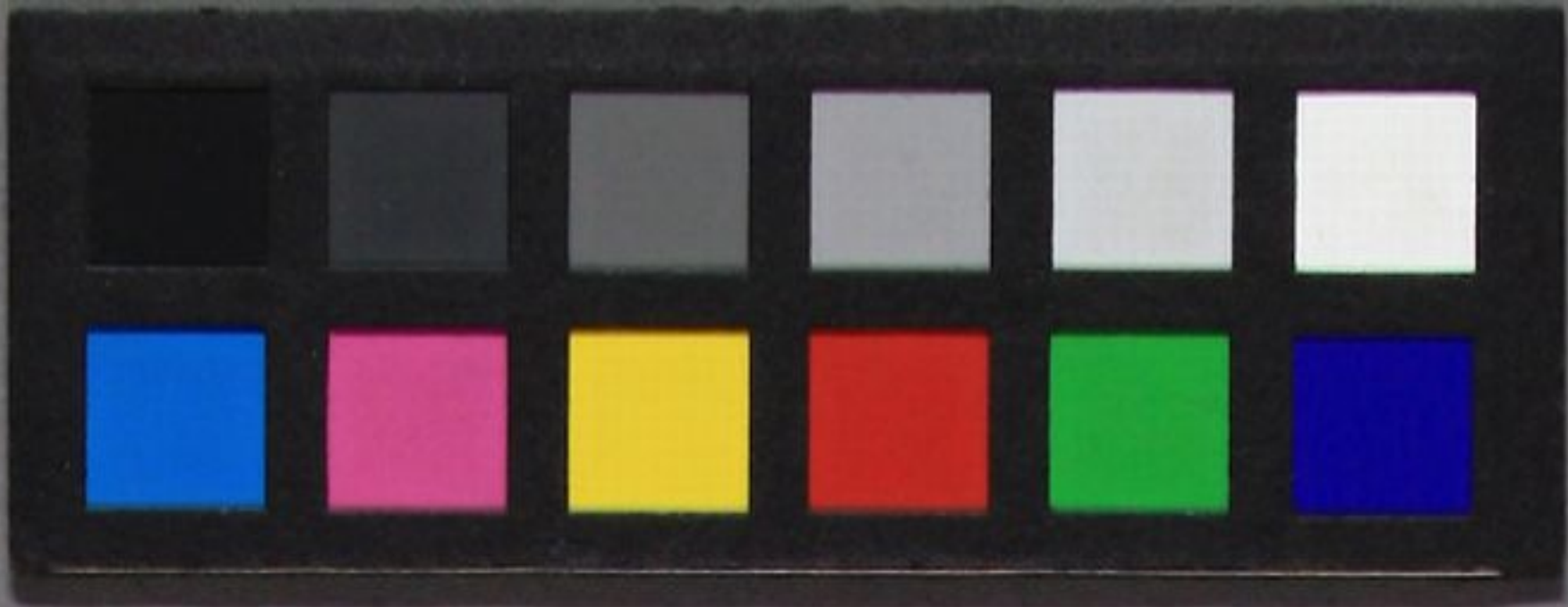
圓正

豊五國画

雪正

佐野喜





花散里  
十一

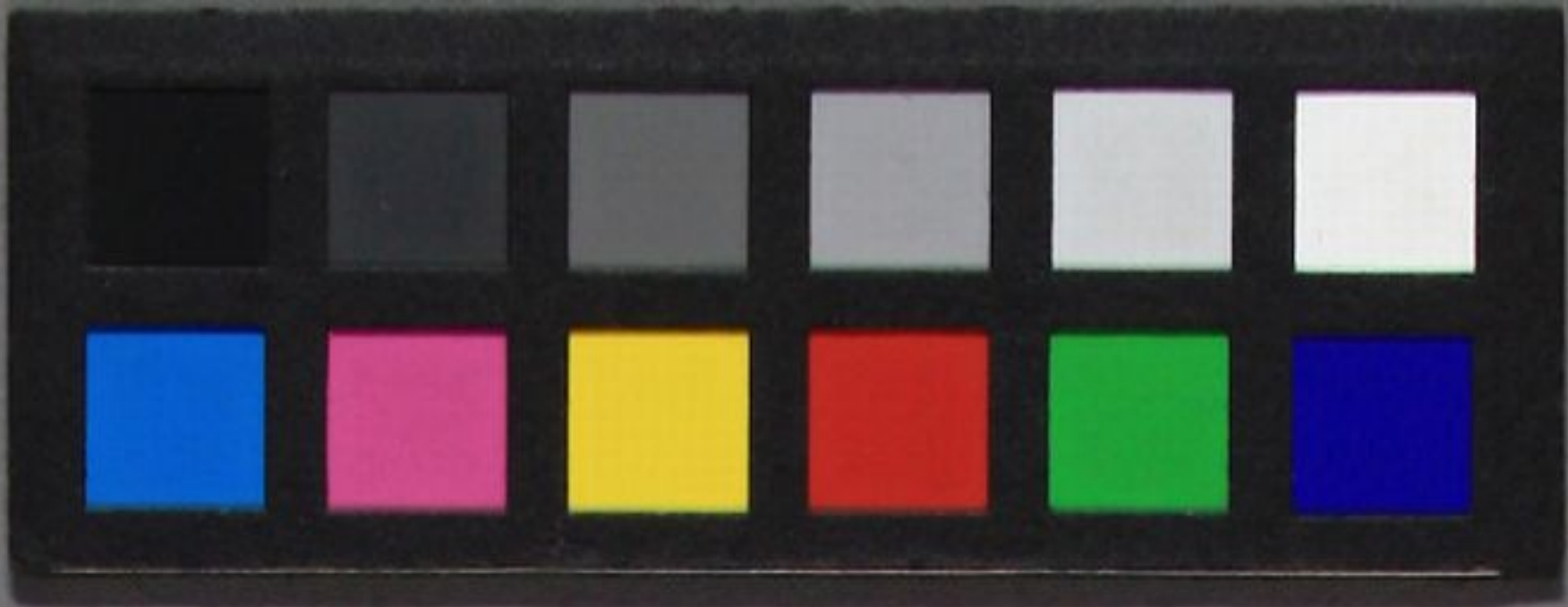
ほろほろと  
花のまはる  
ぬきまはる  
うきまはる  
ぬきまはる  
東田舎

豊立団扇

佐野喜

命  
風





須磨士

松の風礫うら  
 枝のまゝく  
 ろろゆき  
 すはら冥  
 甲斐守  
 春登

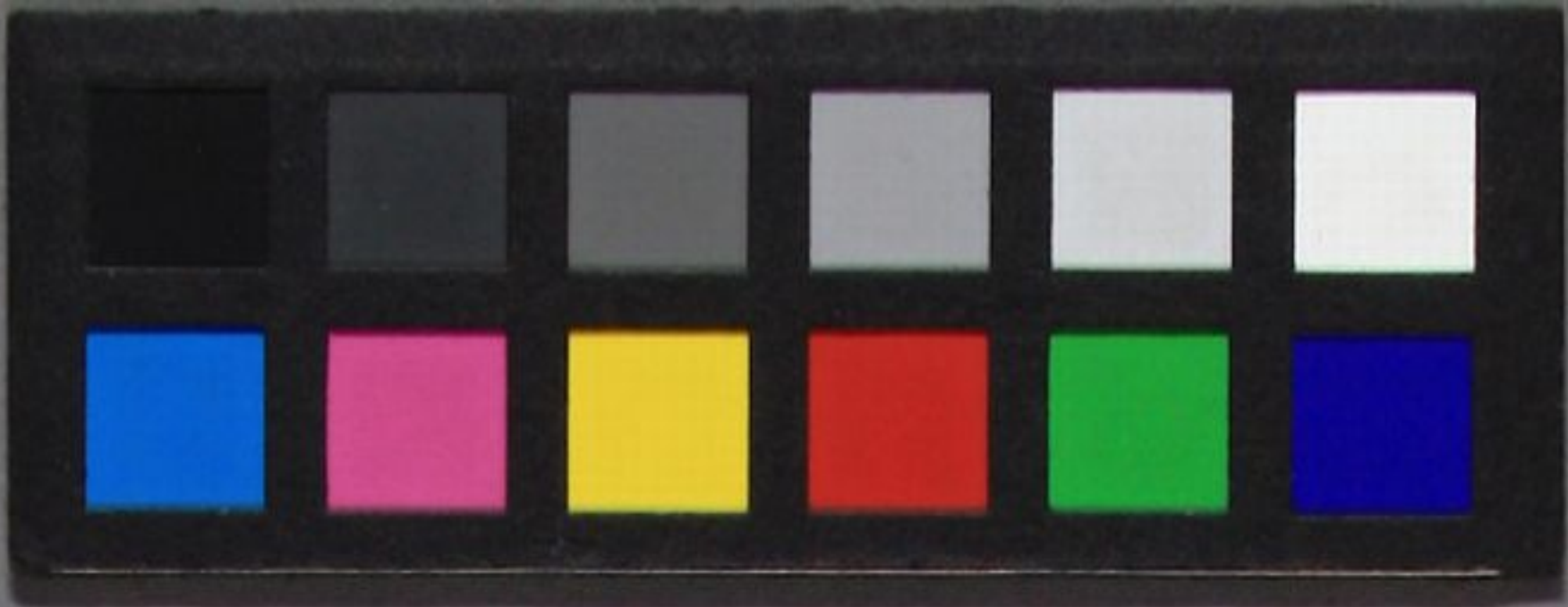


佐野喜

豊國

正





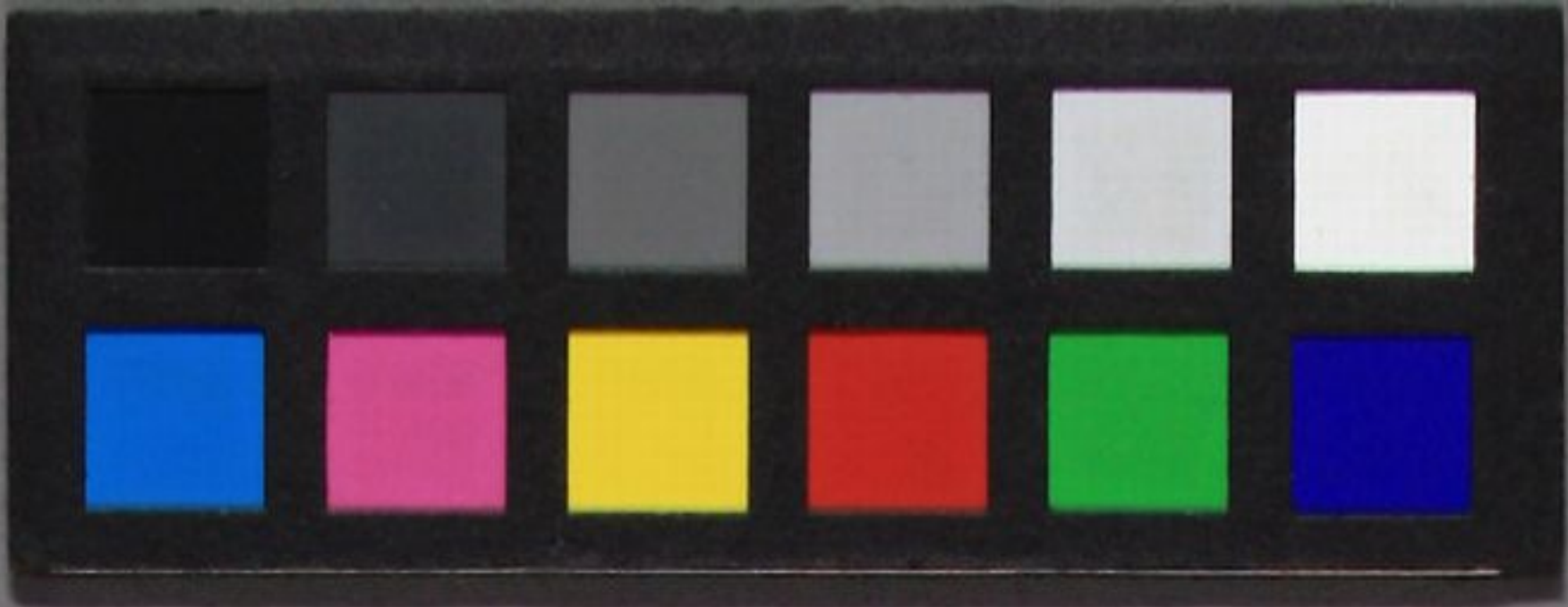
明石  
三

秋めは結月夜  
あけはさるるあはれ  
をうらみとて  
けふはあはれと  
陽好庵書次

佐野喜

曲豆園





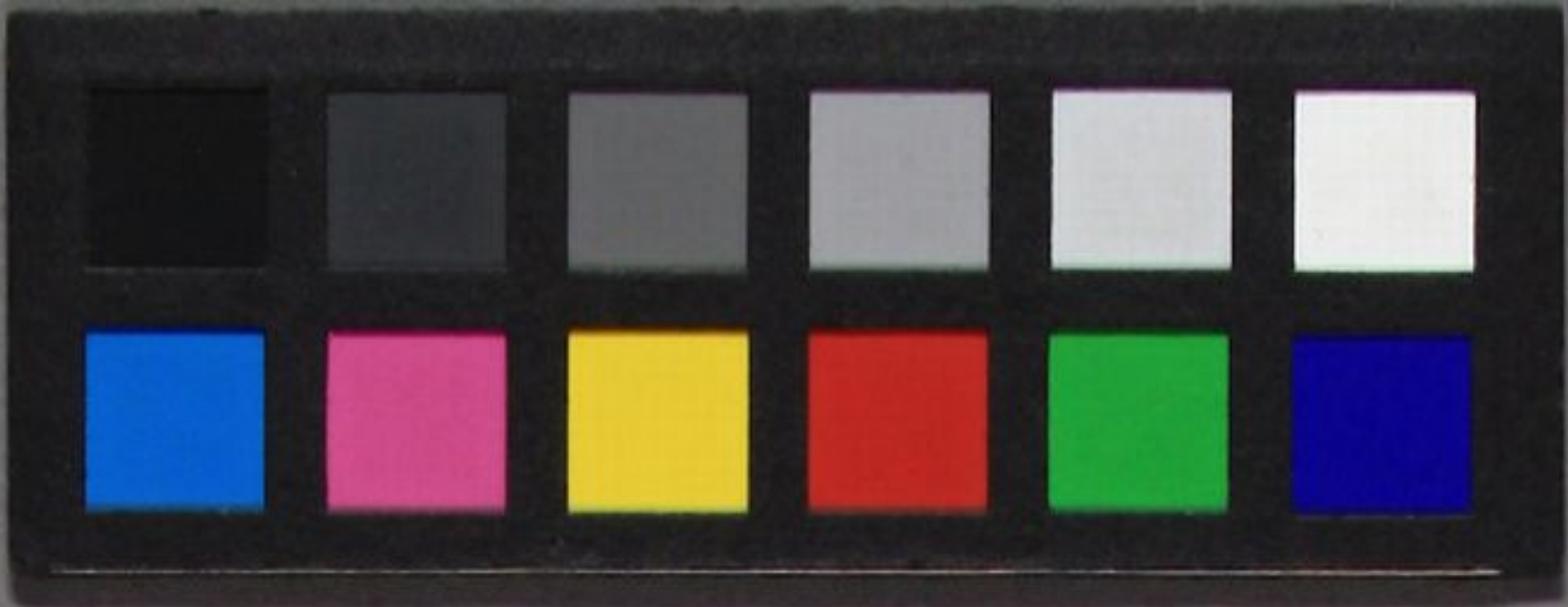
まじりく  
西

まみののれ演色に  
娘出まの千代の  
まじりく  
林のまじりく  
美喜兒

豊島屋  
正

佐野喜





蓬生 五

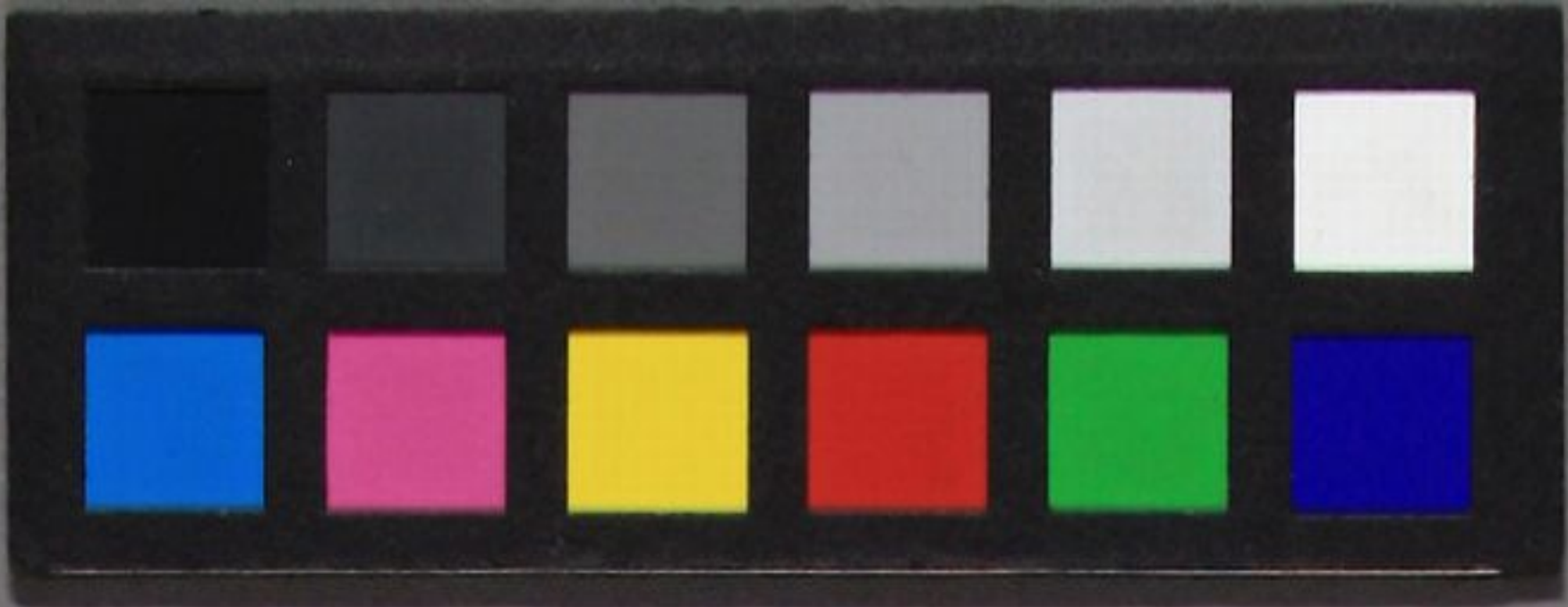
麻の如  
あまきさるん  
あつらひ  
せやゆきくえ  
よれきん乃宿  
千款

曲島園

正

佐野喜





關屋 六

甲斐市川  
美英  
彦坂の算帳  
清永年  
りみちの室巻  
のけねりあや  
秋やゆきん

曲島園五

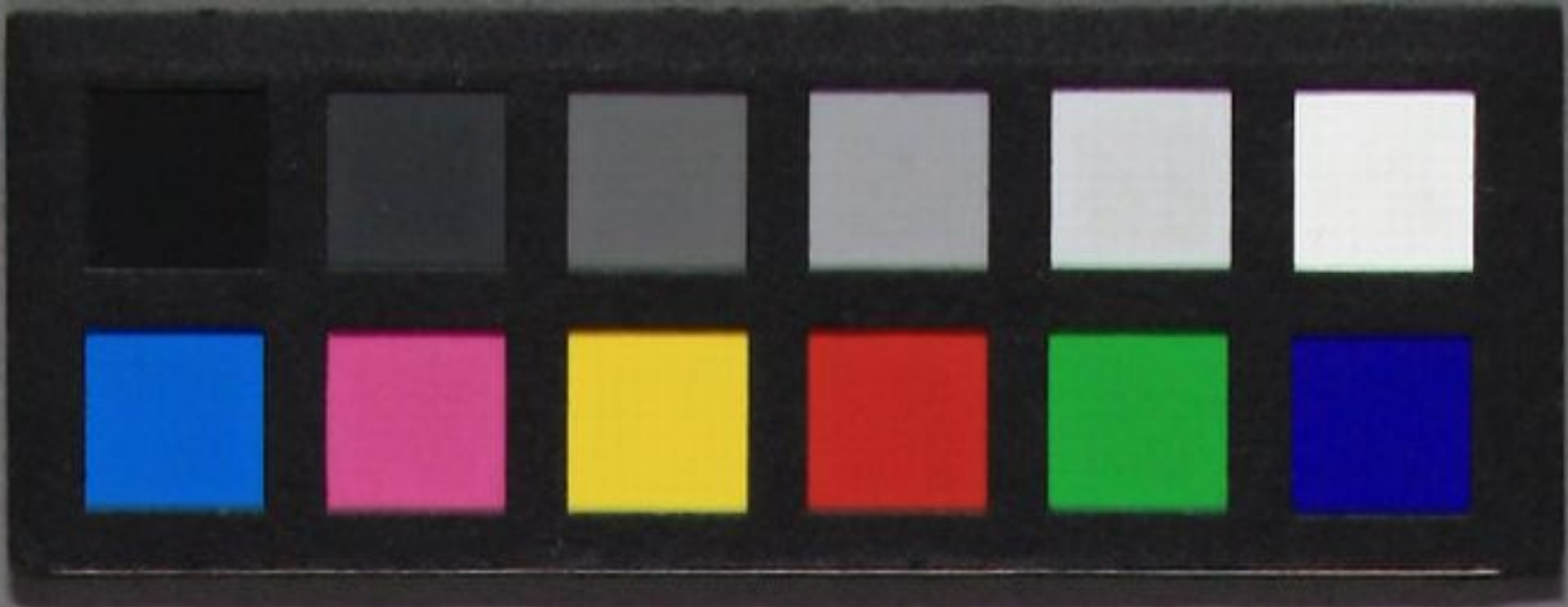
福 正

正

佐野喜







繪合  
七

源重隆  
よけふれもね  
うらふれかき  
男はまの光  
うらふれかき

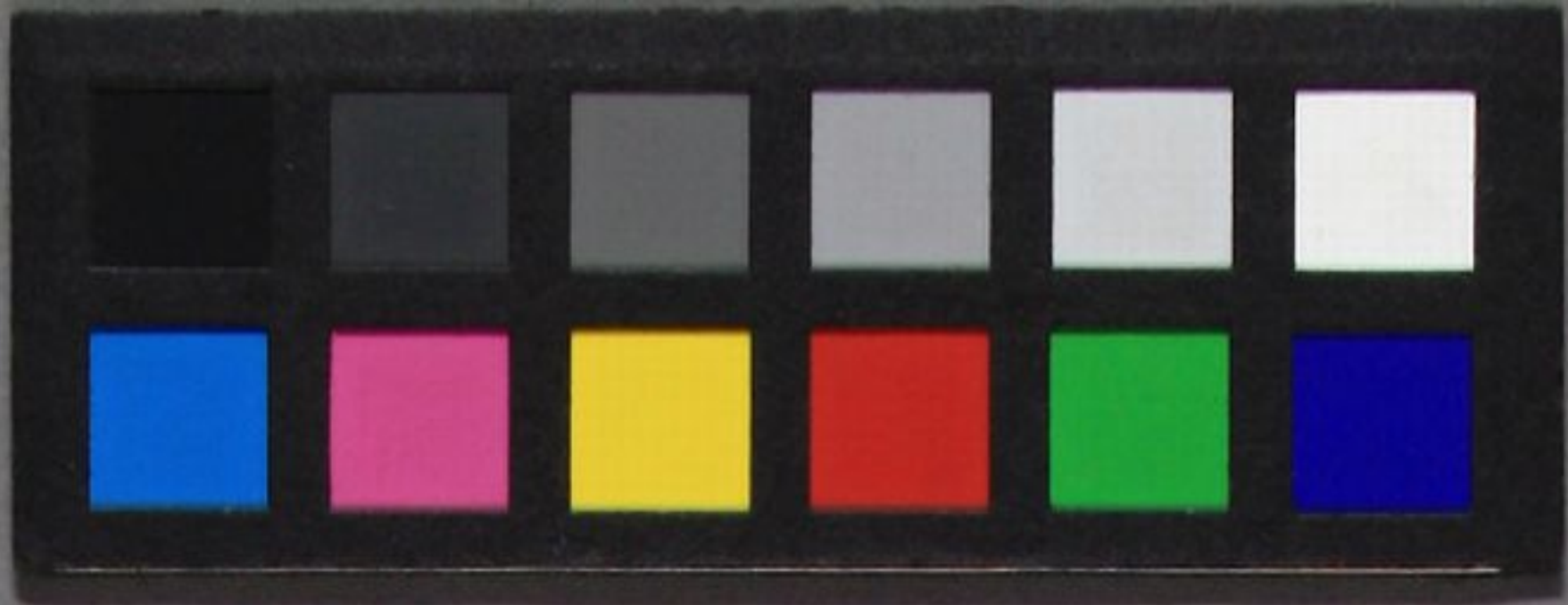
曲豆園

佐野喜

馬五

福  
貞





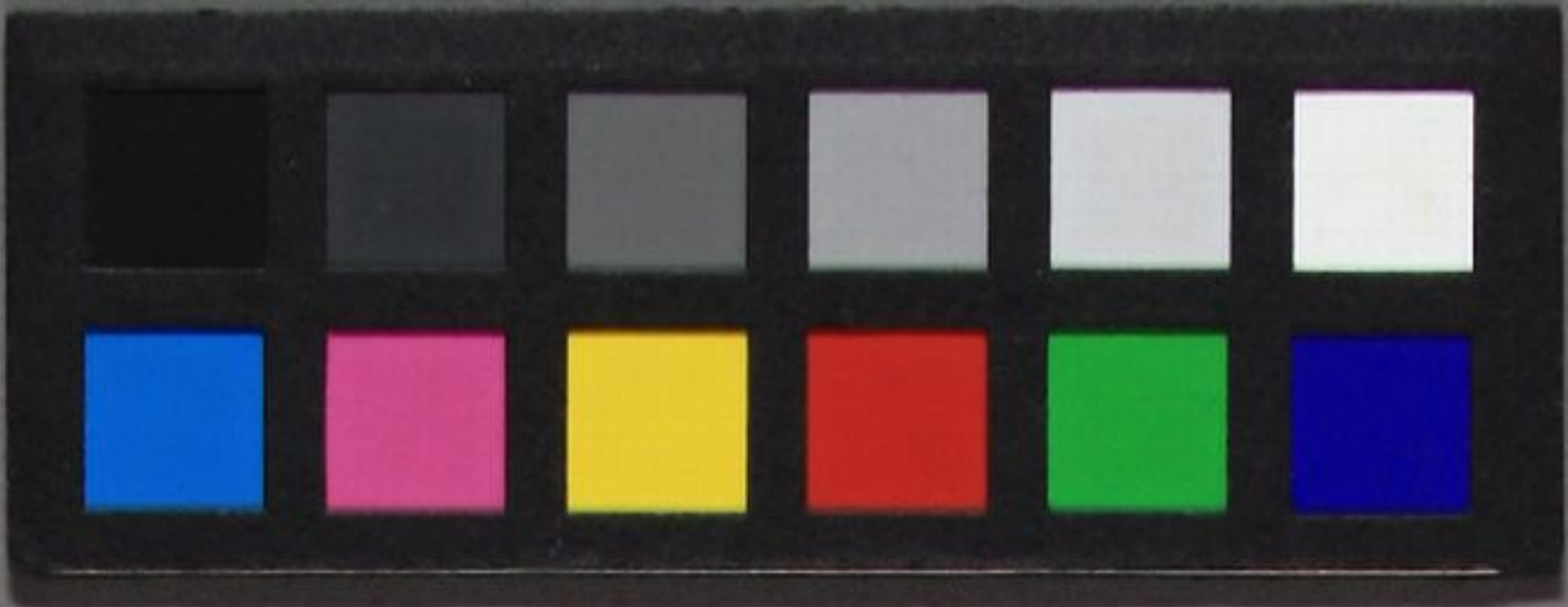
松風大

いみじき  
かきかき  
かきかき  
かきかき  
島見

正 佐野喜

豊立団魚





薄雲

丸

為を二月おろそ

かろそ

よきていそれぬ

おもひある

あ

笠下亭主人

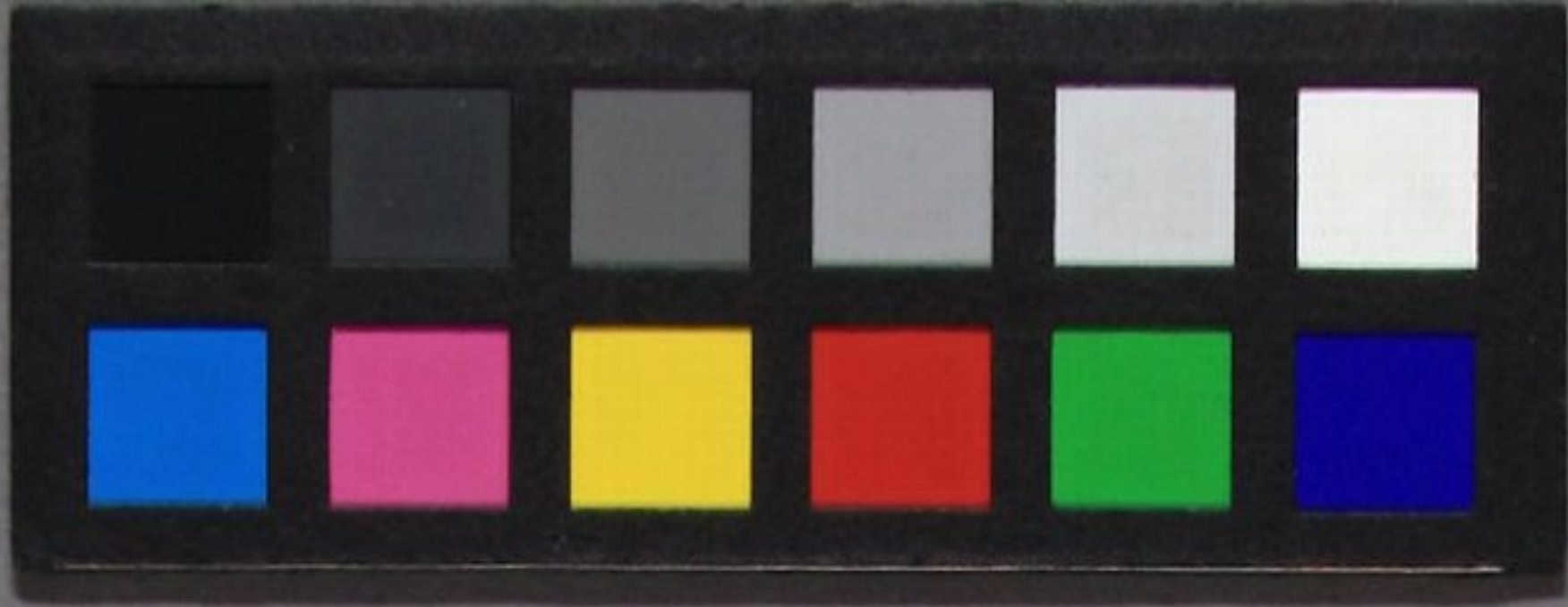
豊五郎丸

印

印

佐野喜





朝顔 (Asagao)

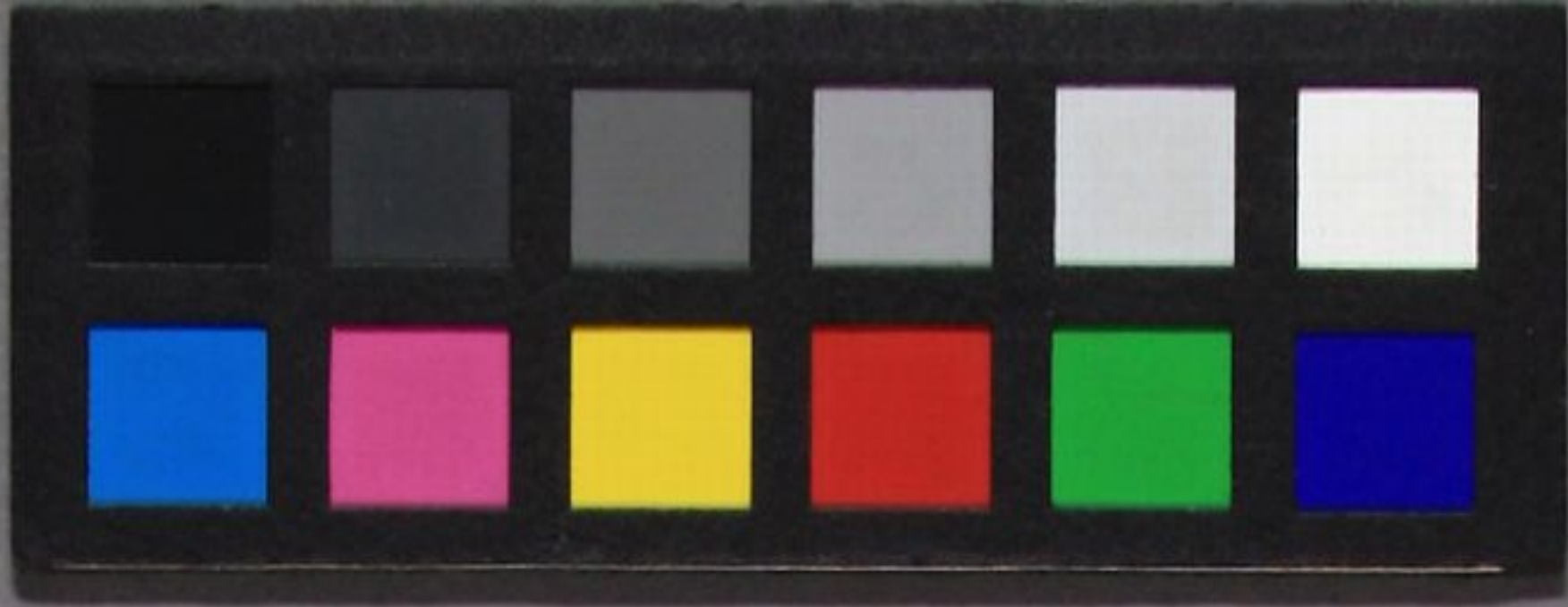
日新あり  
あもひぬるに  
去々まじり  
うき世の縁縁は  
ゆきのつとさのを  
徳興川後  
有盈

徳興川後

有盈

佐野喜





少女  
廿一

池原のるこき

あひの餌を

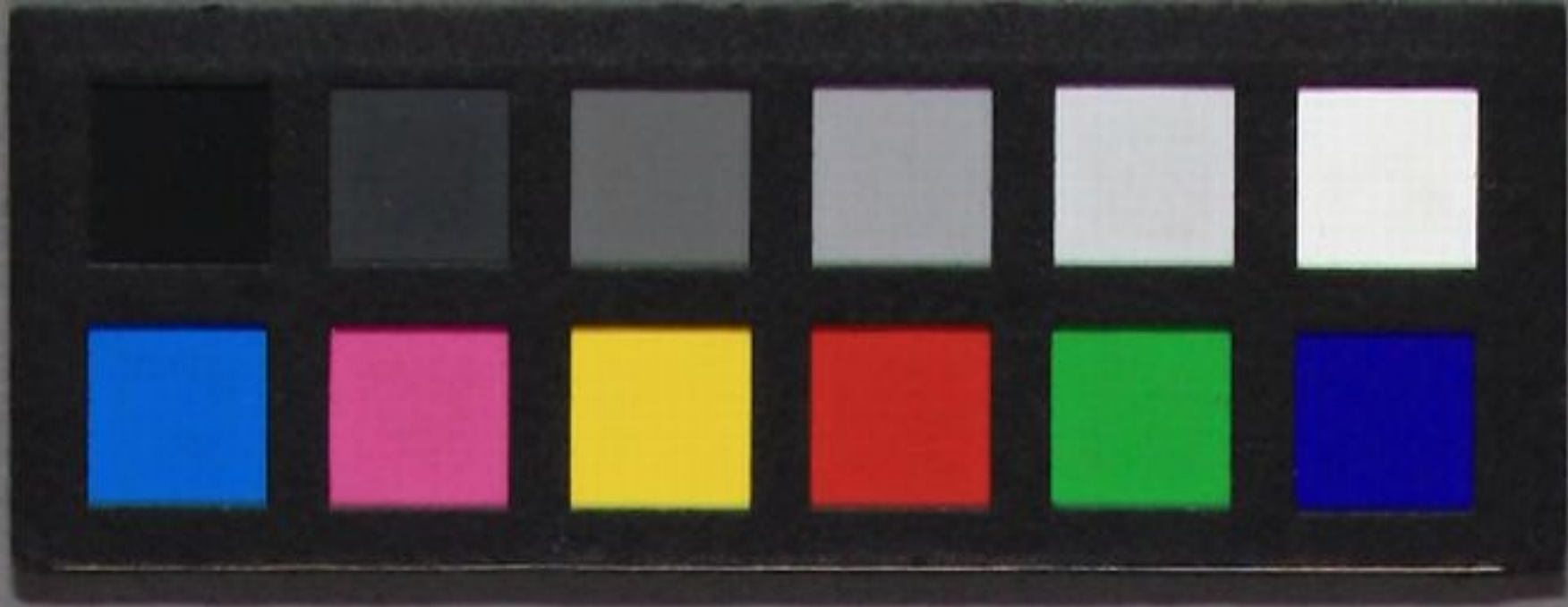
うけ

まごせふつあ

まごあ子

後李下齋松聖





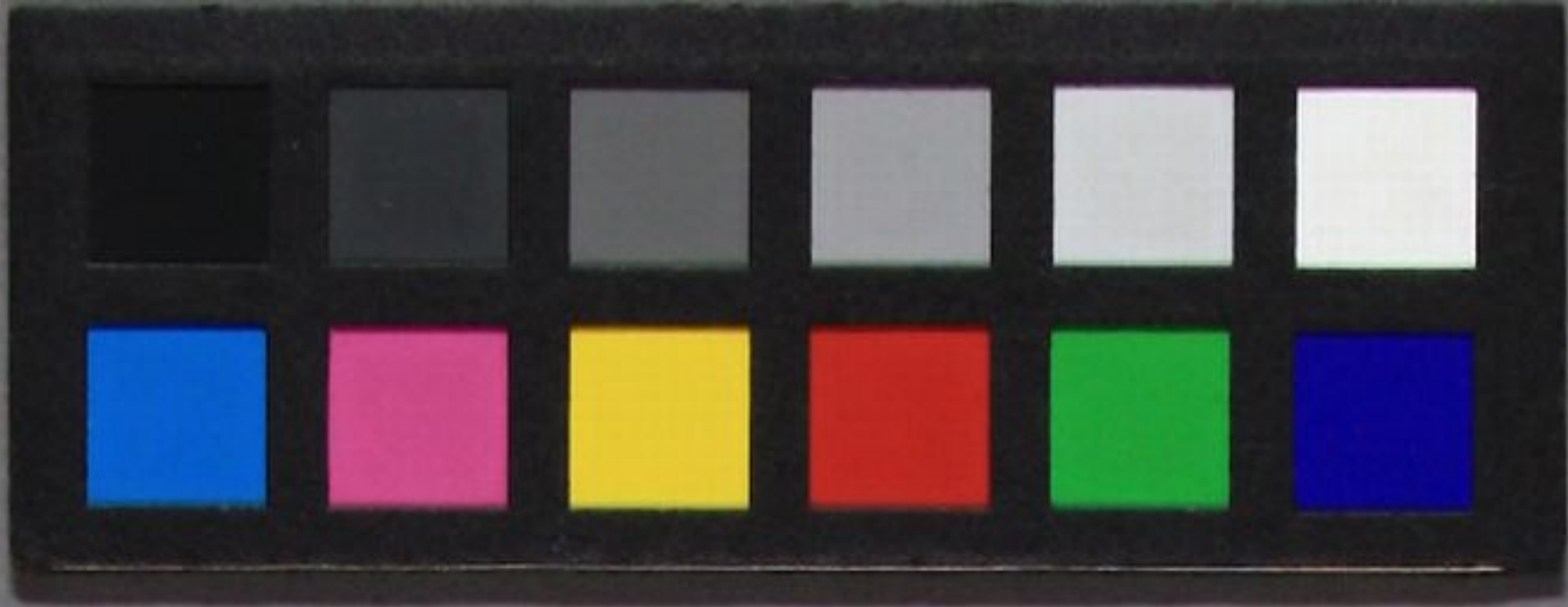
玉鬘  
主

ひらき  
され免るる  
初年也  
惜しむ  
乙女  
まはれ  
甲斐守  
英賢

佐野喜

豊國





初音 (Shiun)

春祈の  
 心を  
 枝子むつ  
 尾の  
 ひま

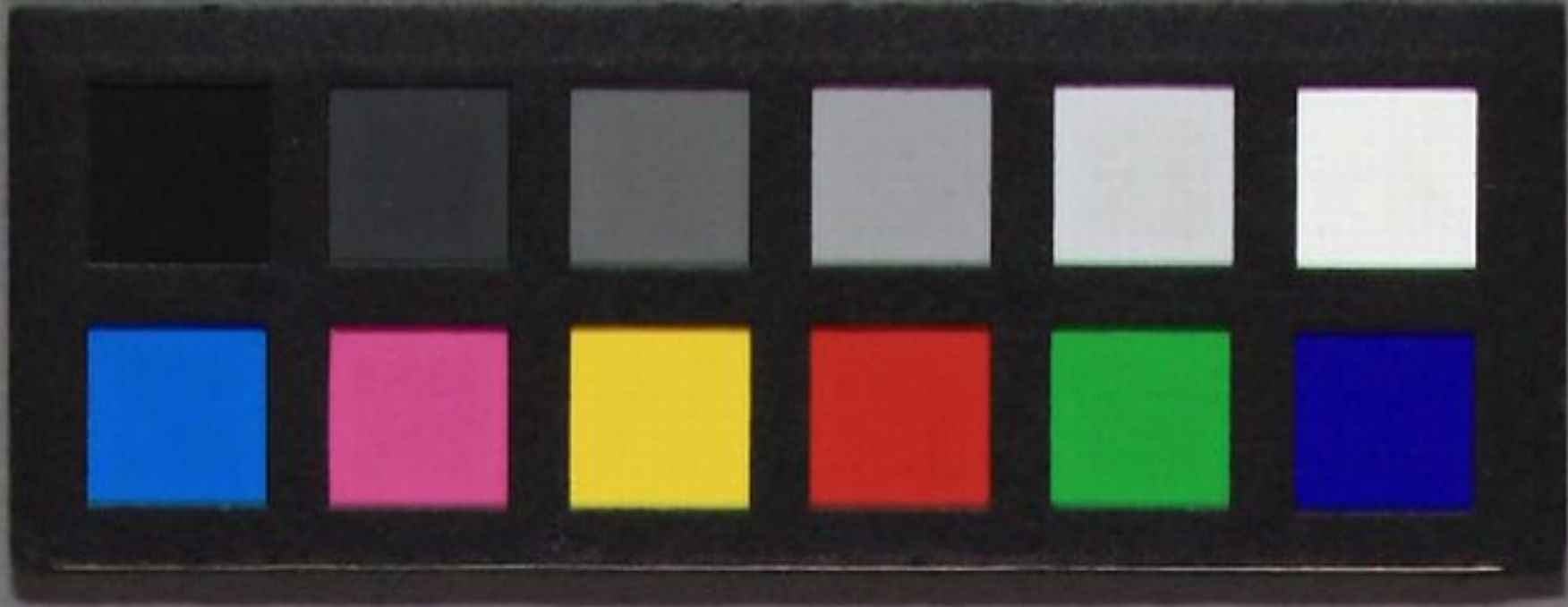
陸奥羽田  
 芳俊



佐野喜 (Sano Ki)

豊子園 (Toshiko no En)





胡蝶  
 甘  
 かしこみしるしを  
 こころに  
 うららかに  
 あいさす  
 車音度

胡蝶 甘



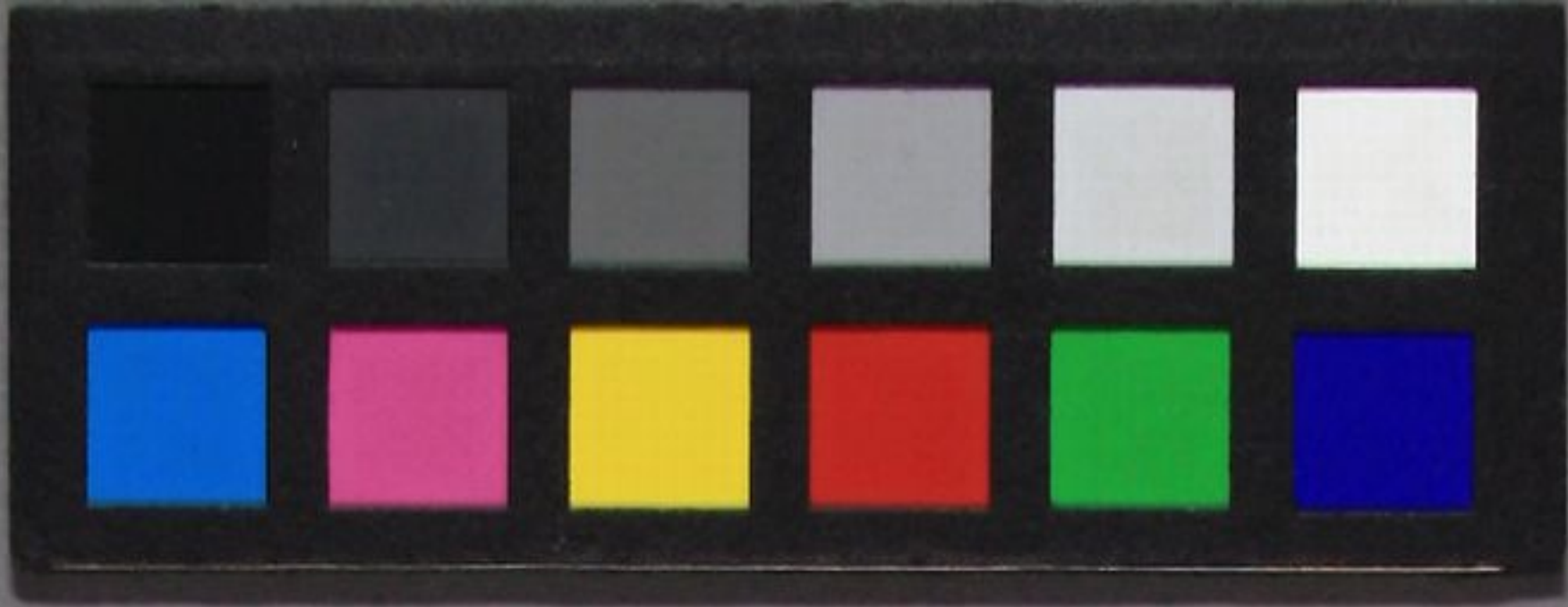
佐野喜

曲五國

五







螢

三

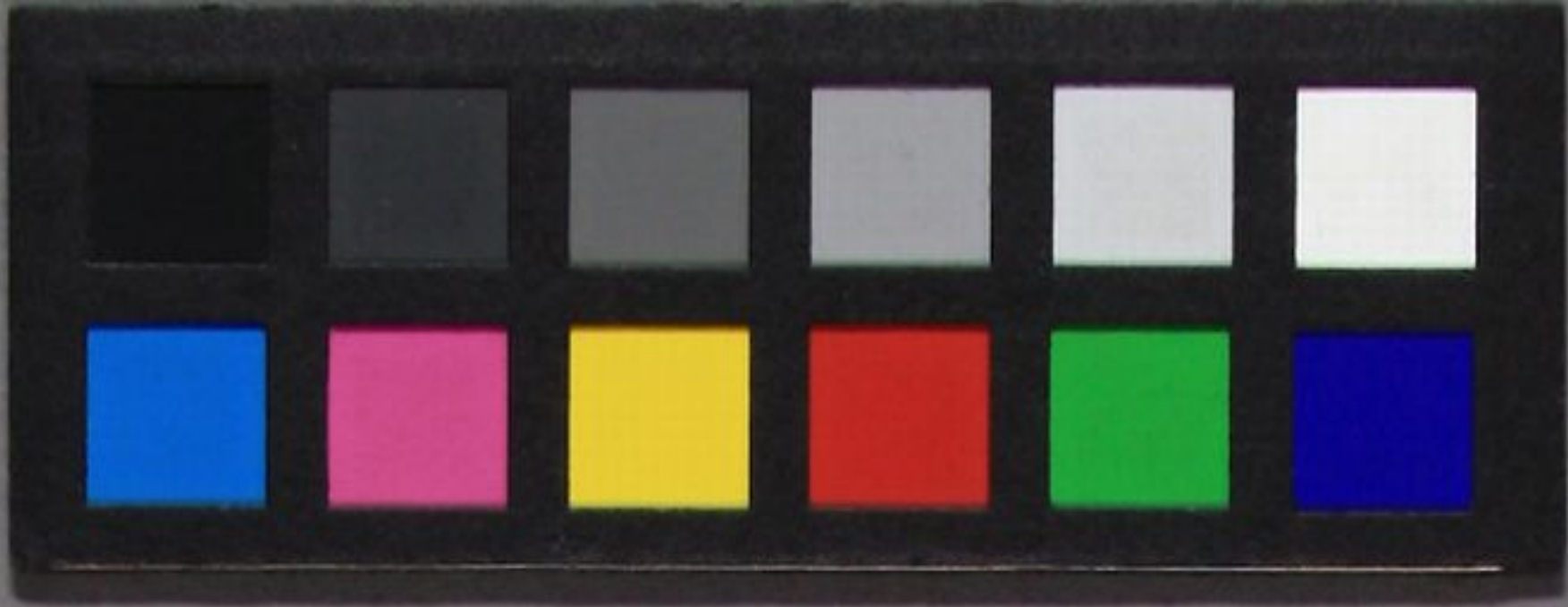
かきろふる螢は火も  
 えゆるさそ  
 清める机の  
 ちのひ  
 ちのひ  
 淡舒庵 詮村

曲豆園出

佐野喜







篝火  
廿

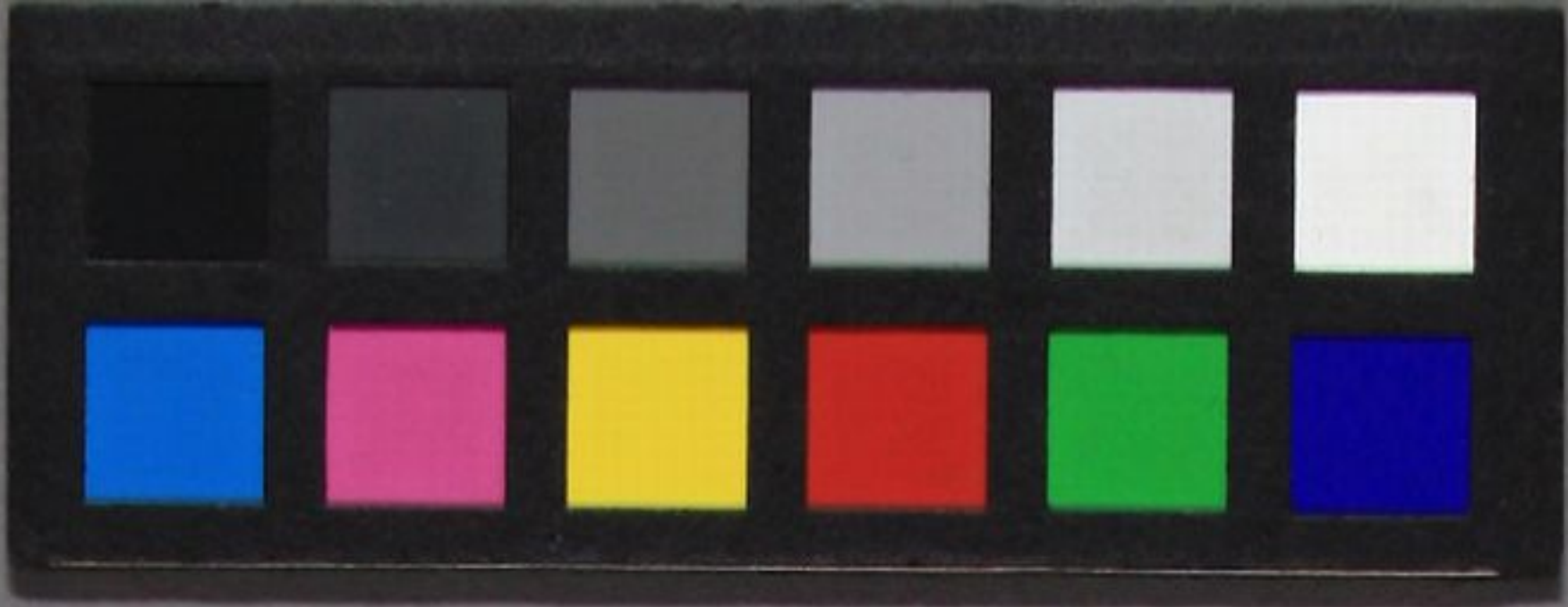
さくらあきハ  
夏の物もいふ  
かき火を  
月影あうに扱ふら  
けつあり  
花街 照子殿



曲五國出

五五  
佐野喜





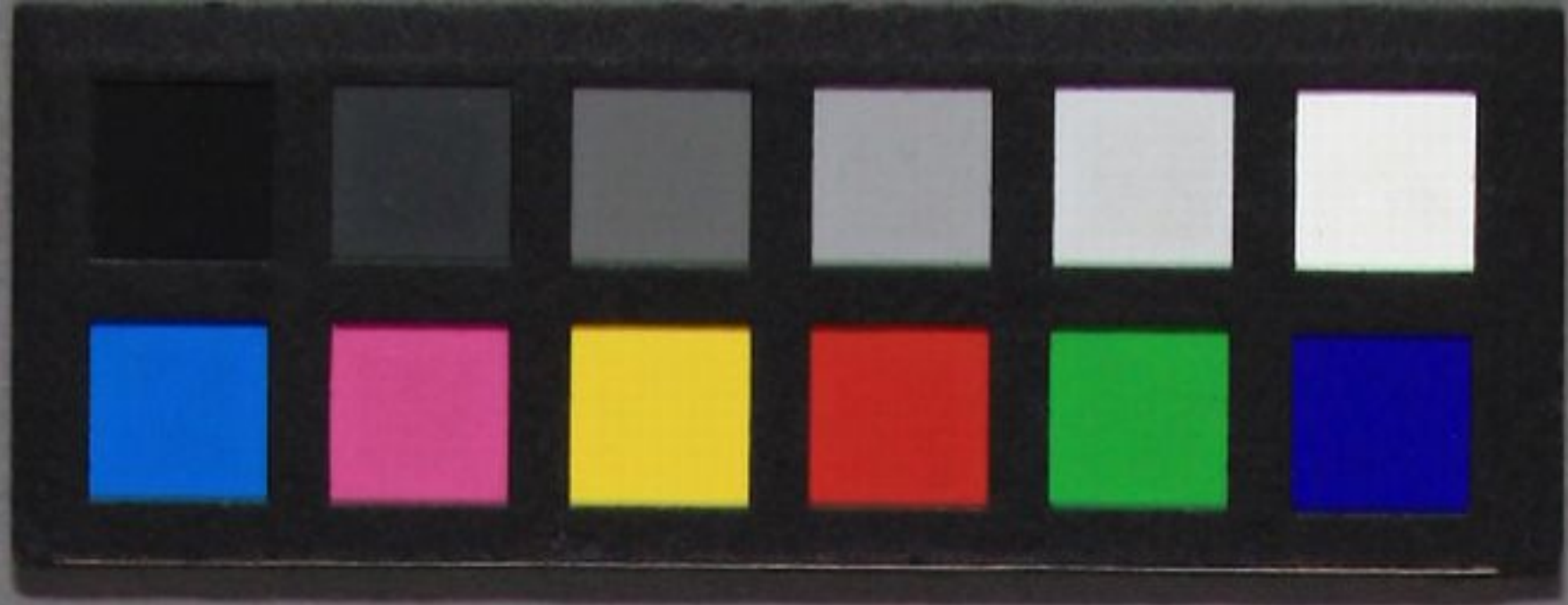
野分 (天)

あせのうらたけ  
まはるゝこも  
まはるゝたれ  
あせのうらたけ  
まはるゝこも  
まはるゝたれ  
上毛絨巻物  
為忠



野分 (天)  
佐野喜





御幸 廿九

秋父小松

風

桜

あさき

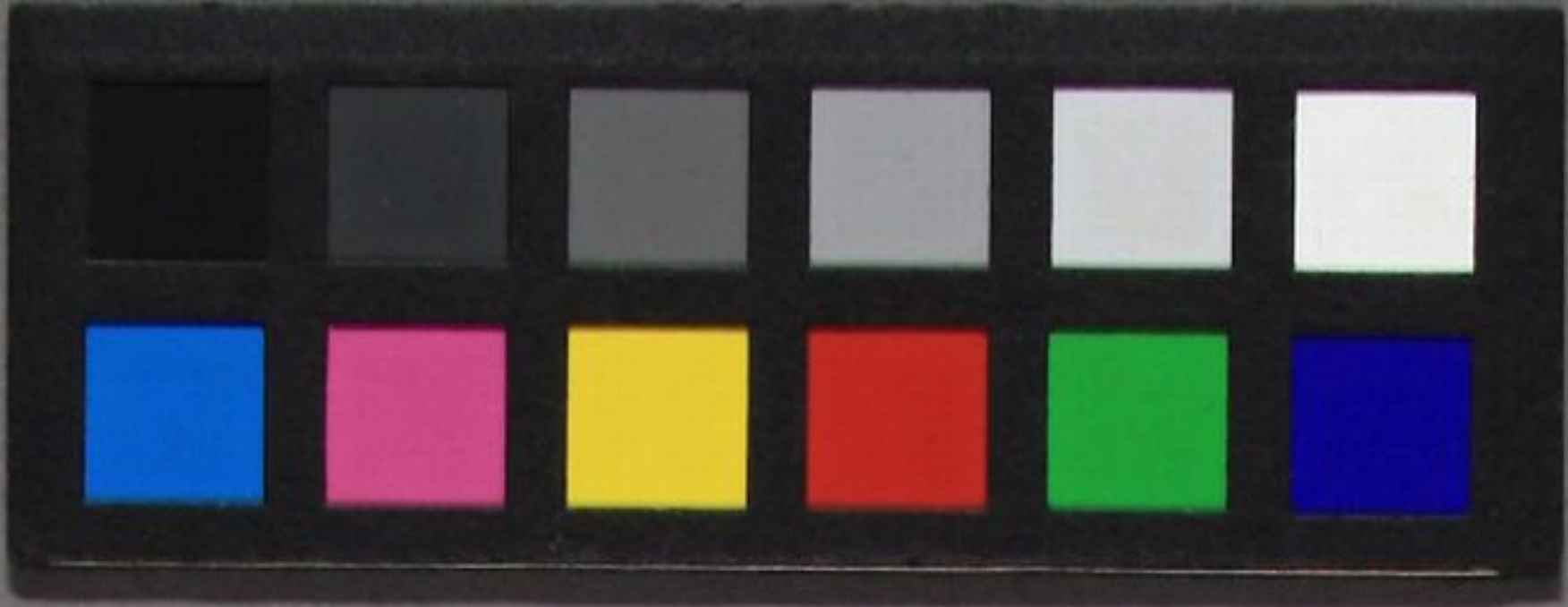
あさき

五

佐野喜

曲





藤袴

三

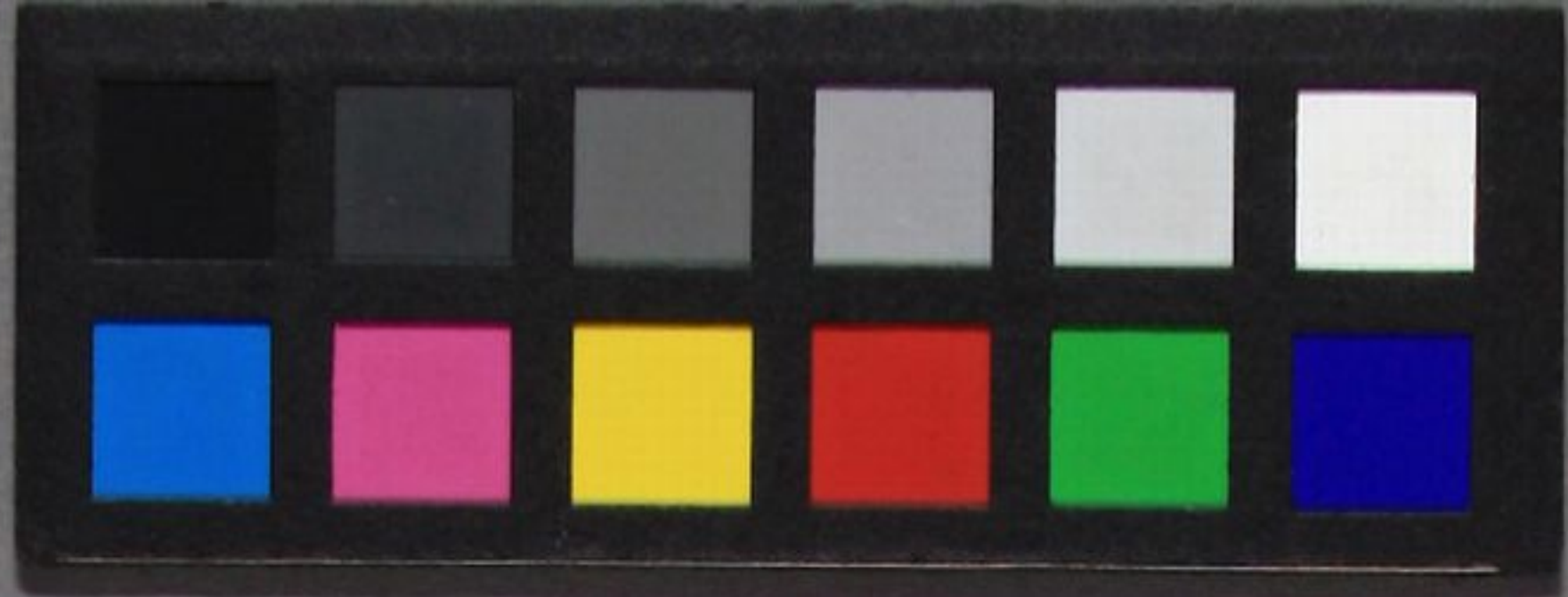
あはれなるぬひも  
 あつ子実  
 不ころむつ  
 風みみこころ  
 糸はききよわ  
 淡绣菴有貞



佐野喜

豊多國画





真本柱  
三十一

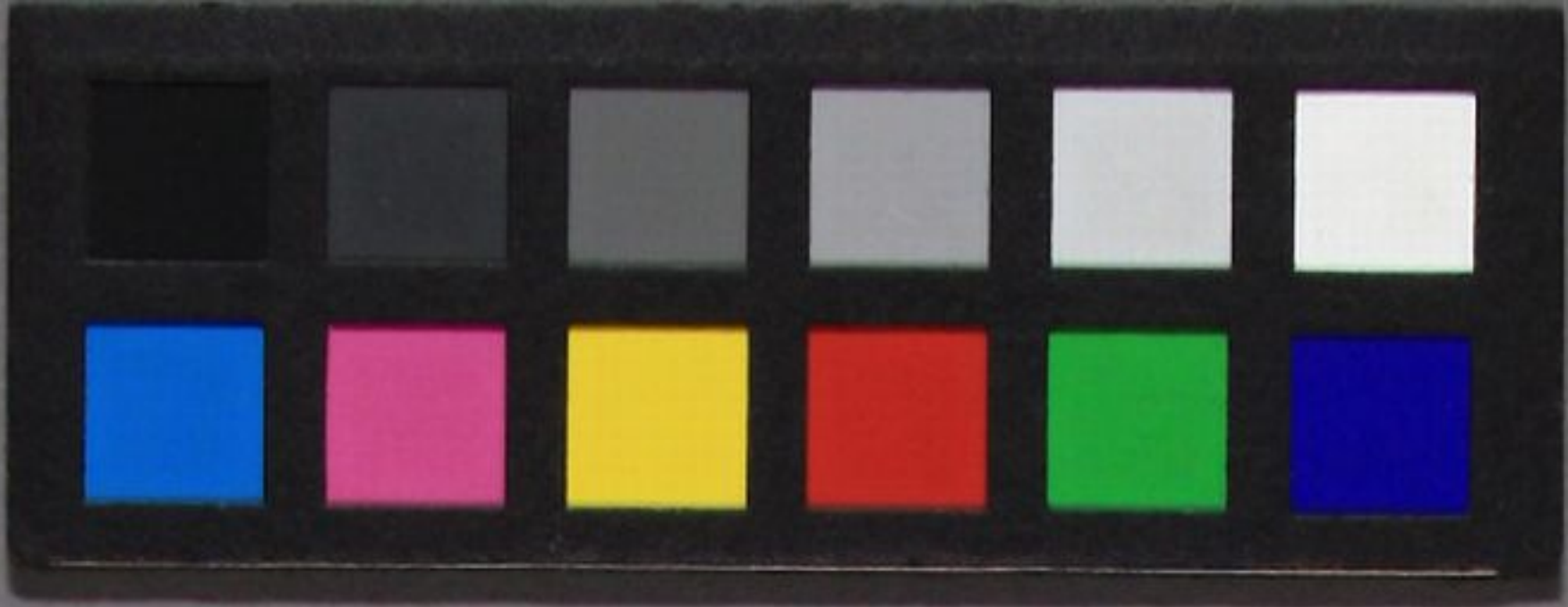
あまのこころを  
よめるは  
さき  
そと  
あまのこころ  
よめるは  
さき  
そと  
あまのこころ  
よめるは  
さき  
そと

壺文舎春浪

佐野喜  
市屋三

曲立園





梅枝  
三

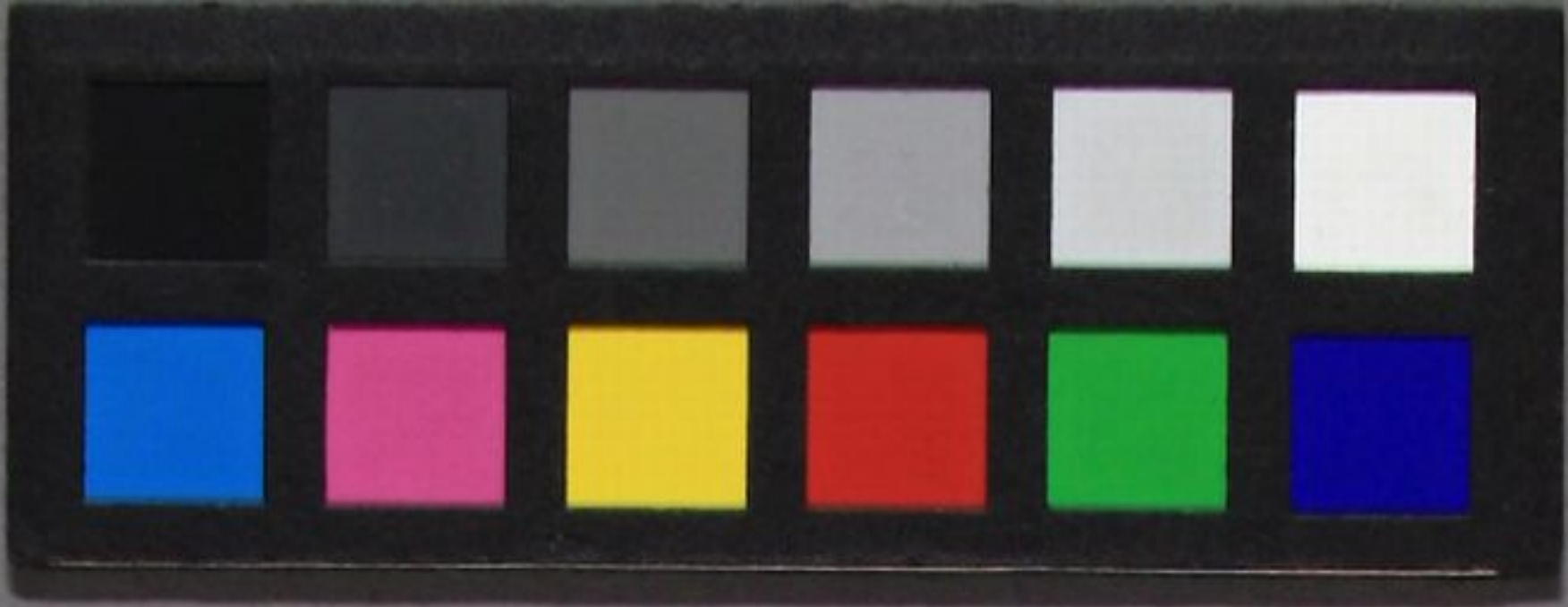
たきものもそれく  
あそびや  
けさるゑ  
なや梅さ  
まのゆふ  
芦園錐兎

豊立園

佐野喜  
庵







藤裏葉  
卅三

うらあひま  
子代 孫ん松よ  
よらこを  
ふさひてうら  
あひま

下毛葉鹿  
守枝

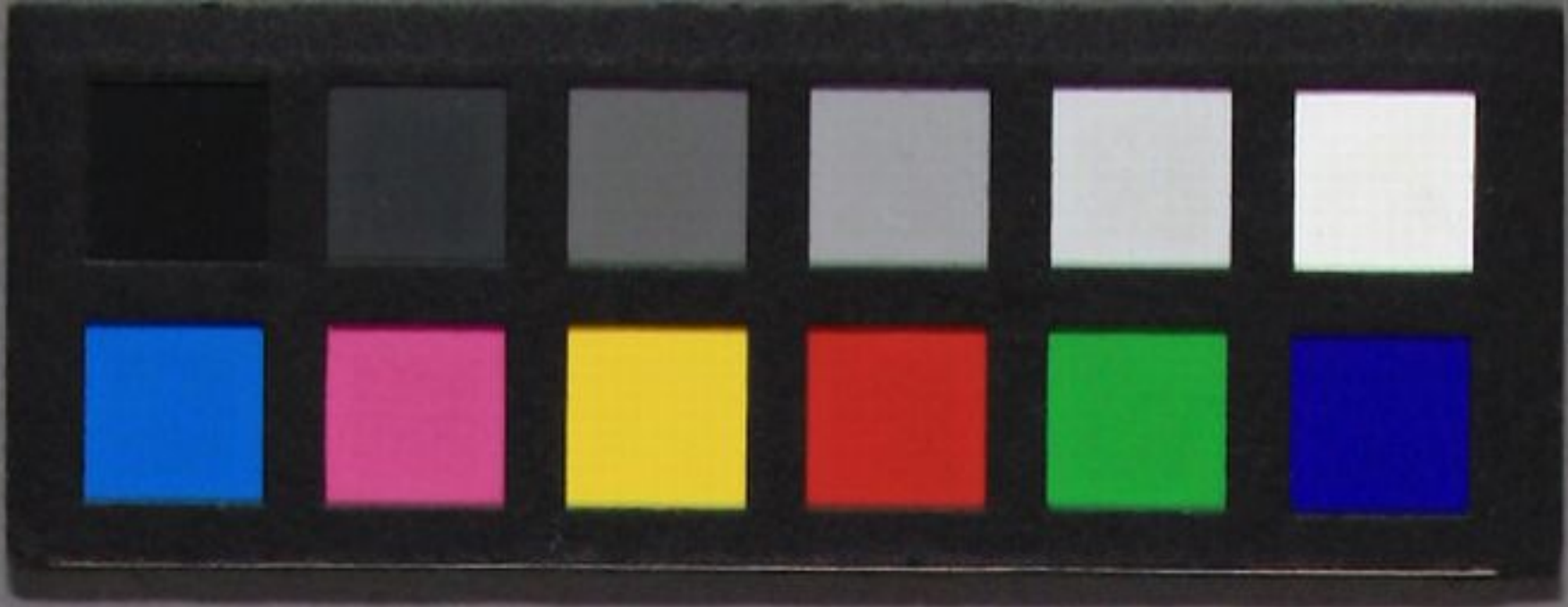
曲り国

五

福 福

佐野喜





若菜上 (Seiwa Ue)

春のさくら 花の  
かきみこらるるね  
みとらとらけ  
若菜つゆ  
院奥川後  
云子後

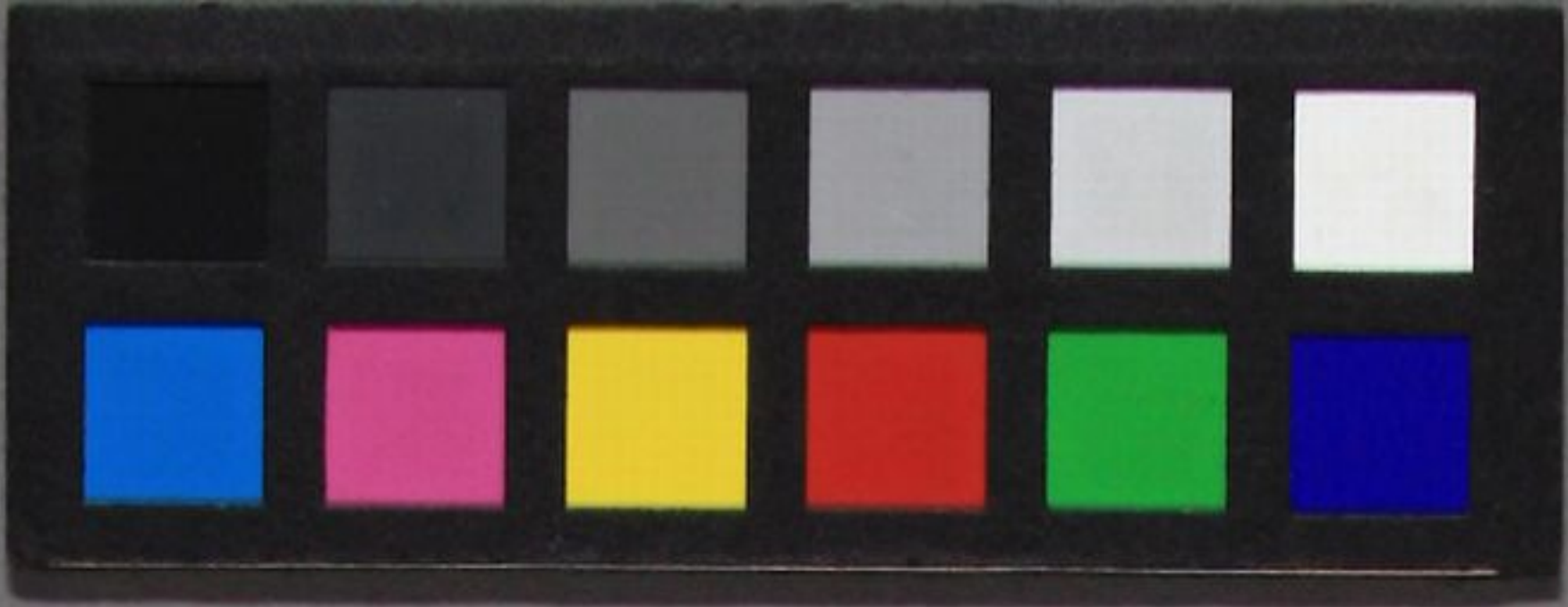


三  
福  
印

佐野喜

曲多團由





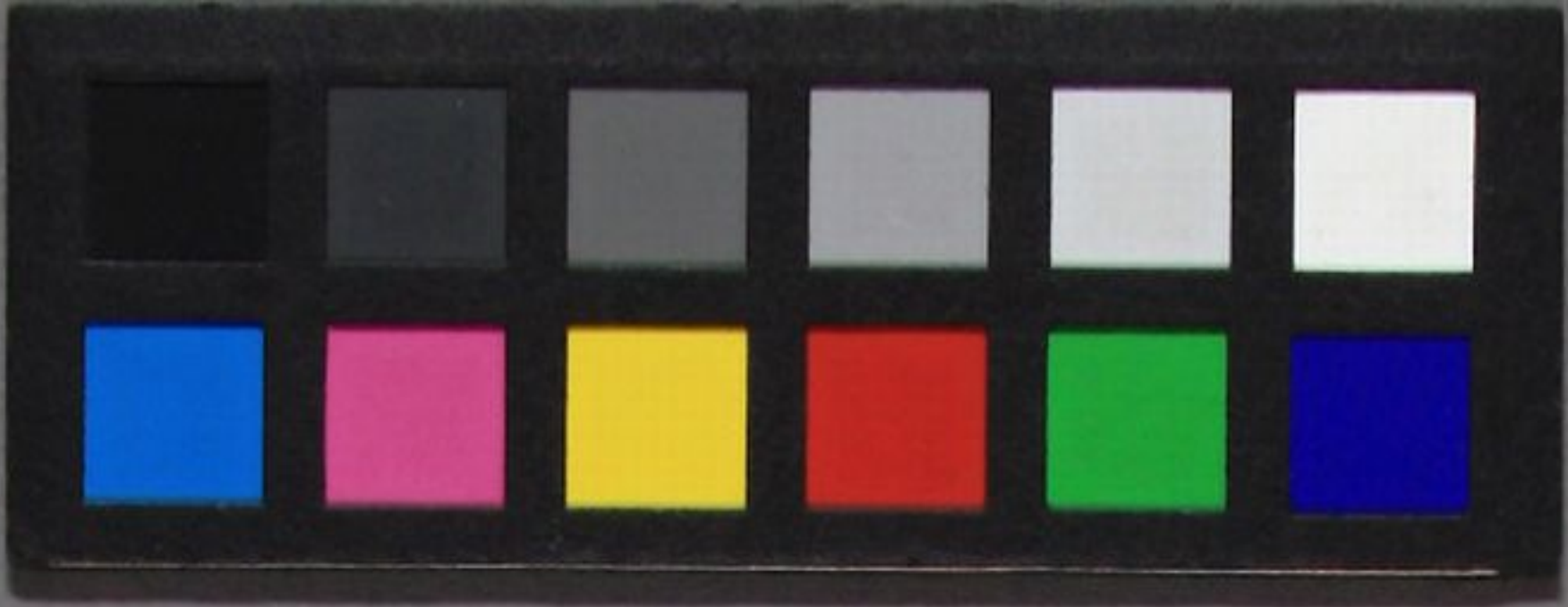
若菜下  
三五

いんげんこころ  
多鋼のそと  
うそあまき  
ふりておこころ  
二風やたふ  
笠庵種吉

印  
曲  
佐野喜

佐野喜





柏木

三六

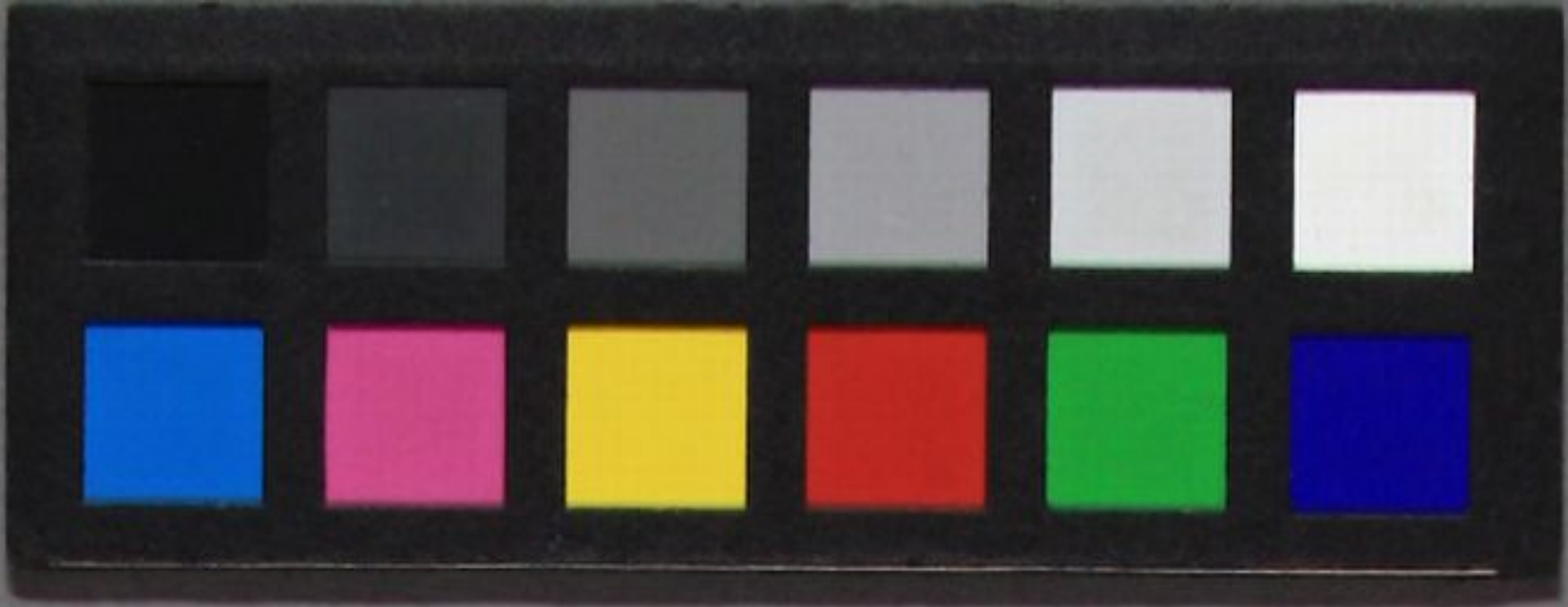
かゝるは葉もろ  
神  
をさそひけ  
き  
来のころ  
多情洞老人

尚  
佐野喜

曲五國女

三





横笛  
三

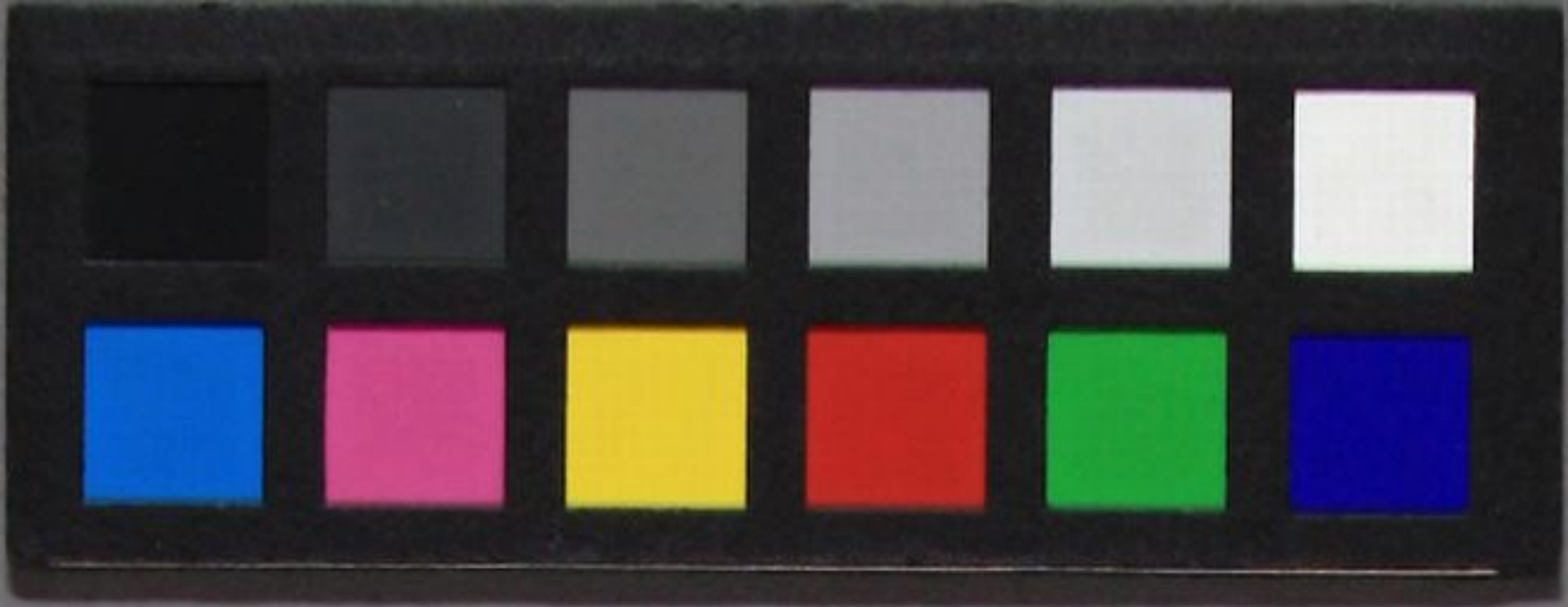
千鹿刀自  
ちんろくとうじ  
ちんろくとうじ  
小萩系  
あまのこあけび  
笛乃ききき

三  
更

豊  
國  
助

佐  
野  
喜





鈴  
虫



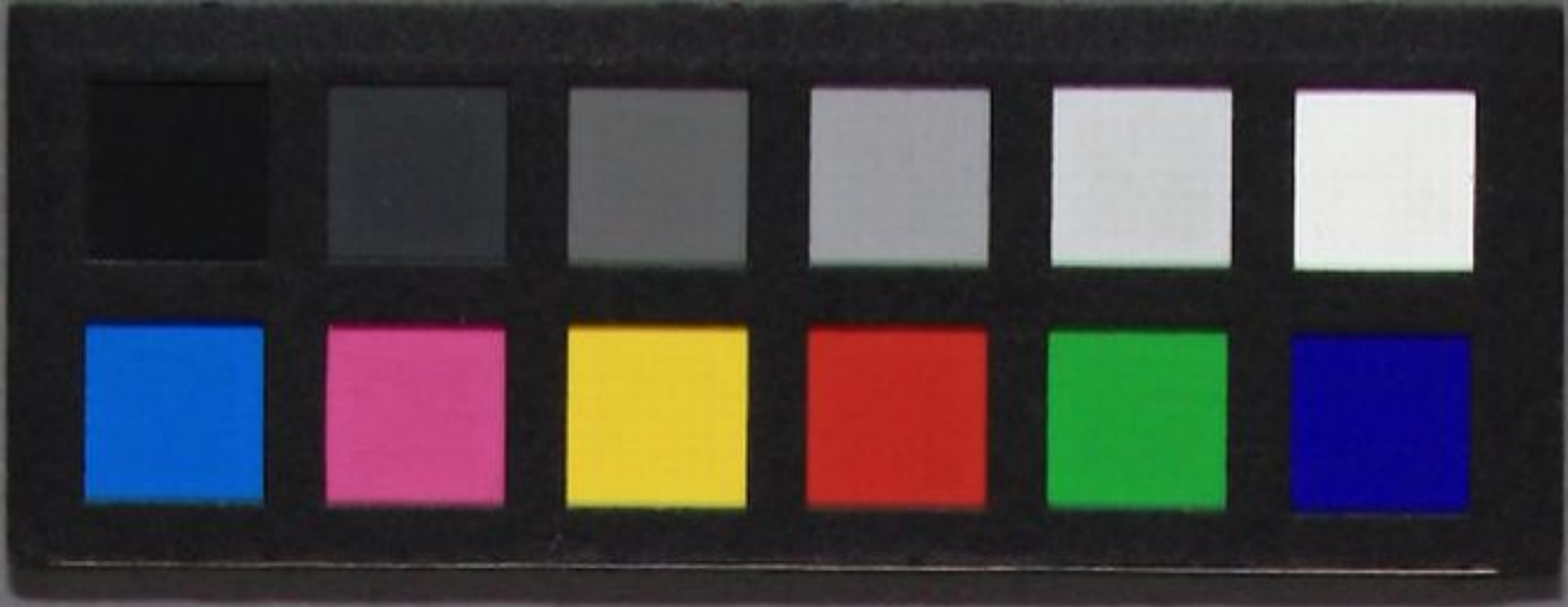
下毛物衣  
 有門  
 花はさかすけ  
 もくあのみり  
 虫のさかすけ  
 花のさかすけ



豊國

佐野喜





夕霧

たよりなき  
よのひ路の  
きりぎりす  
夕霧の  
甲斐市川  
英賢

曲五郎

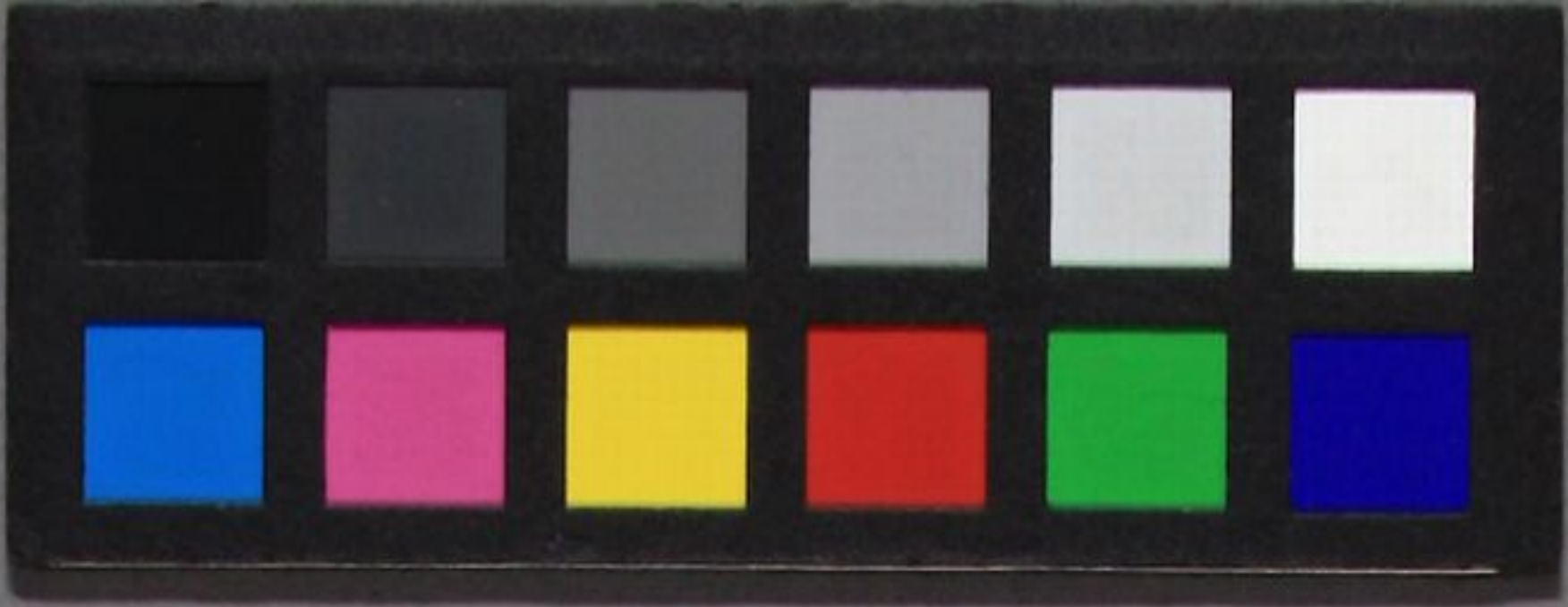
三  
福  
印

佐野喜









幻

四二

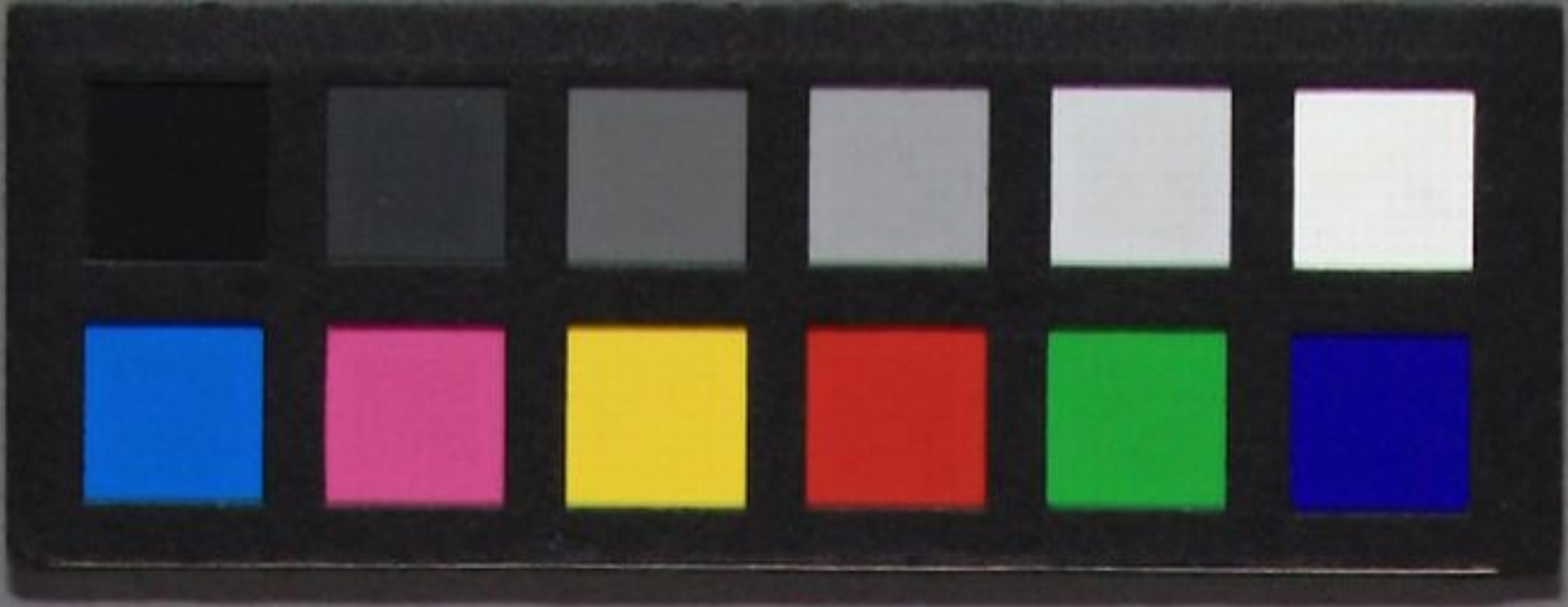
かりうたの  
 天付そ  
 便館

佐野喜

曲多之國

印





句宮

三

東雲亭 照子賀

みきり此種

あつと

ほろあ

あつと

三

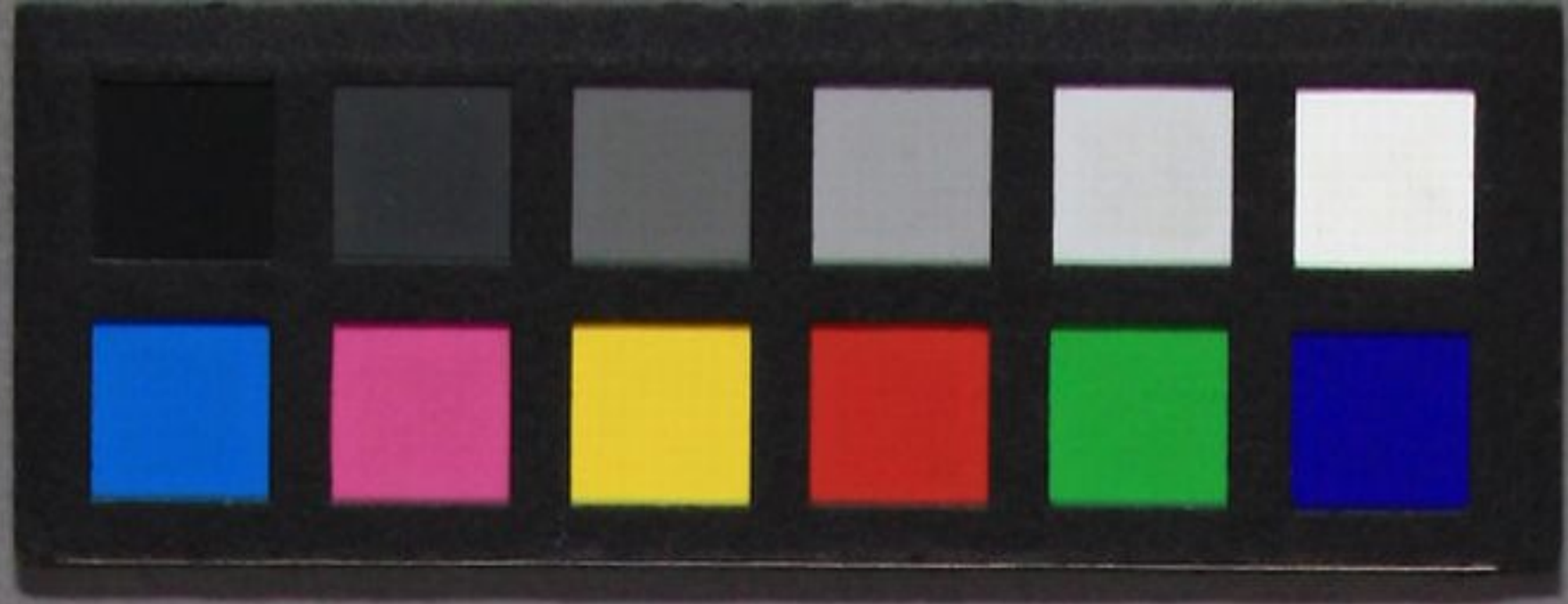
佐野喜

三

曲五園







竹川  
罌

川河を  
さし  
あそび  
拾玉園名代女



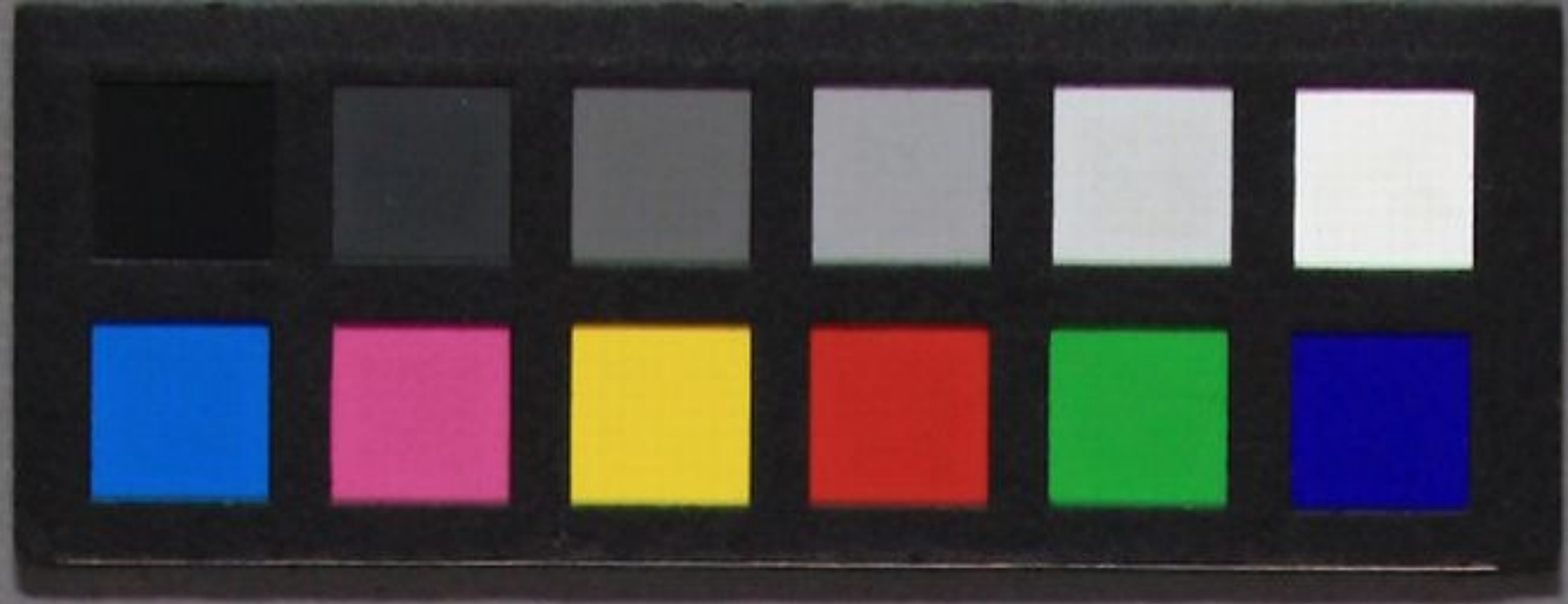
佐野喜

重三

印

豊國魚





橋姫  
四十五

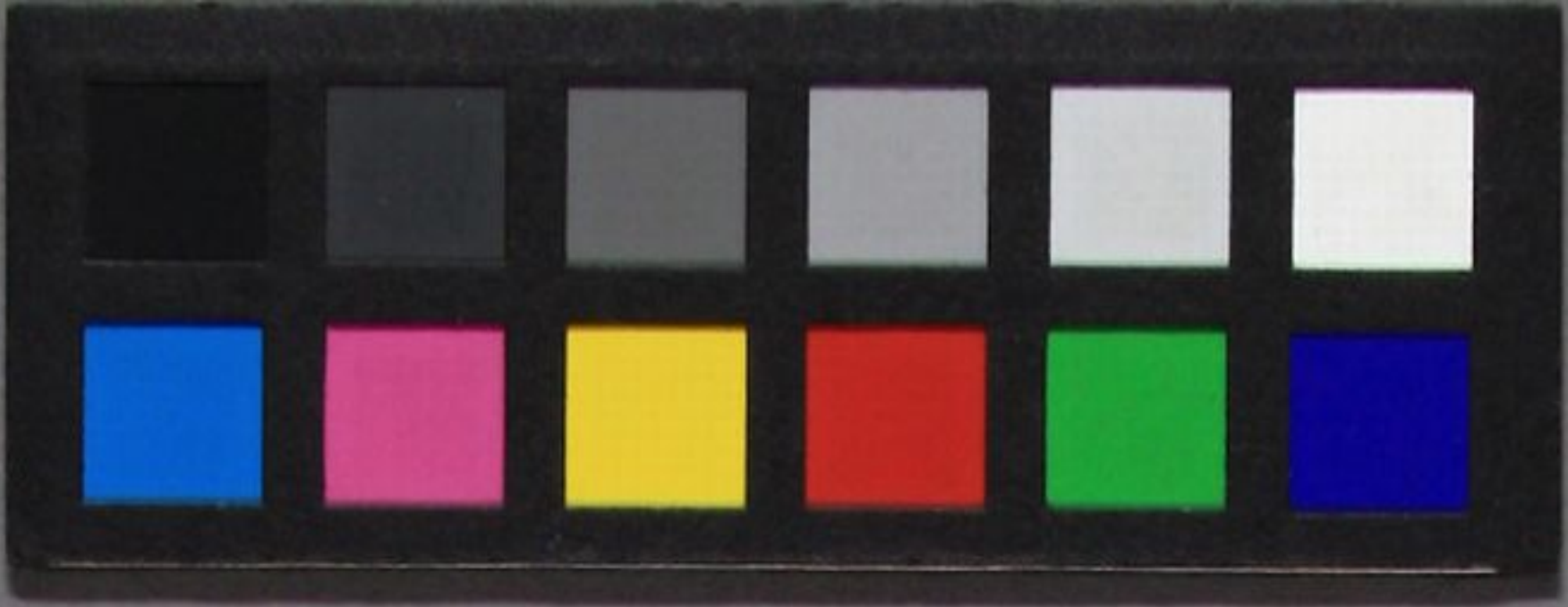
橋姫  
入月  
安房の川  
中尾楼小亀

佐野喜

重二

西園





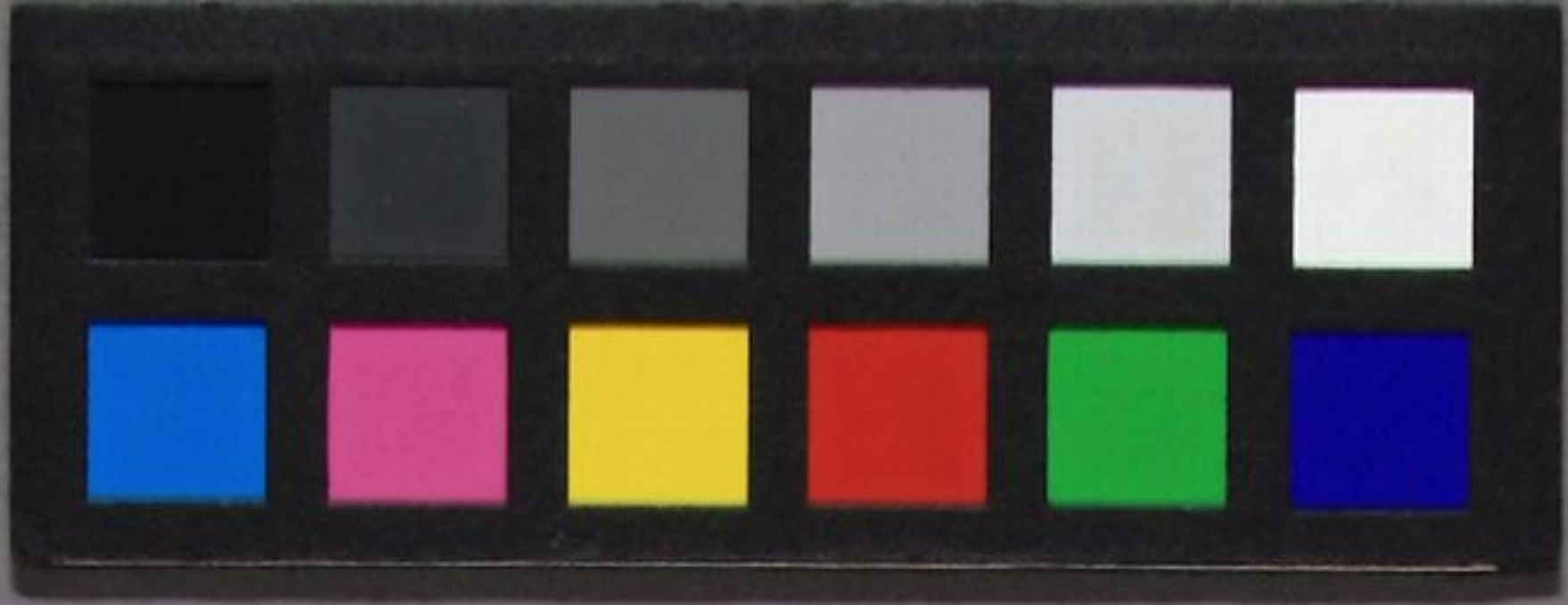
總角  
罌

君の家お那  
心よき事  
なほなほ  
艶美閣久女

佐野喜

豊國  
三





推  
壱

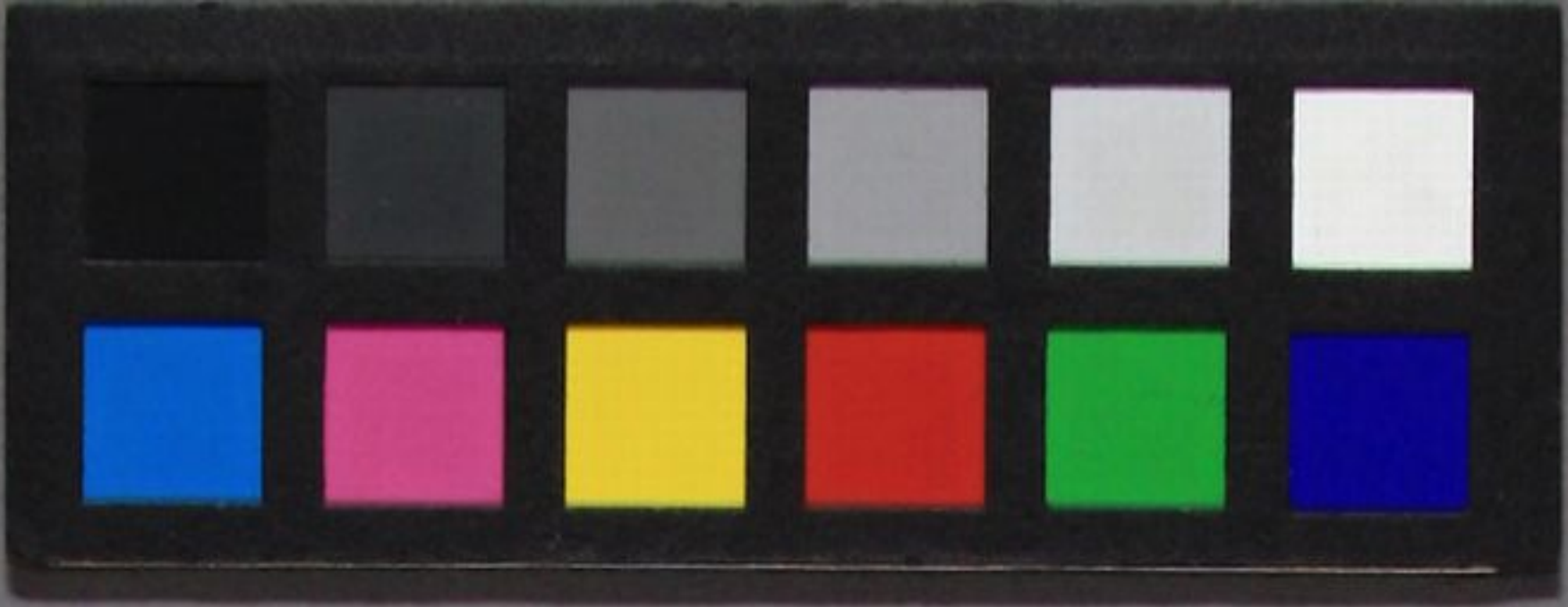
佐野喜

豊五國

印

大慈悲のてらに  
様ようれ本  
とめさくものそ  
風よまのそめ  
後傍意樓





早蕨 罌

下毛葉鹿 花好  
おきづねや花好  
おのりう 初々  
おのりう 初々  
おのりう 初々

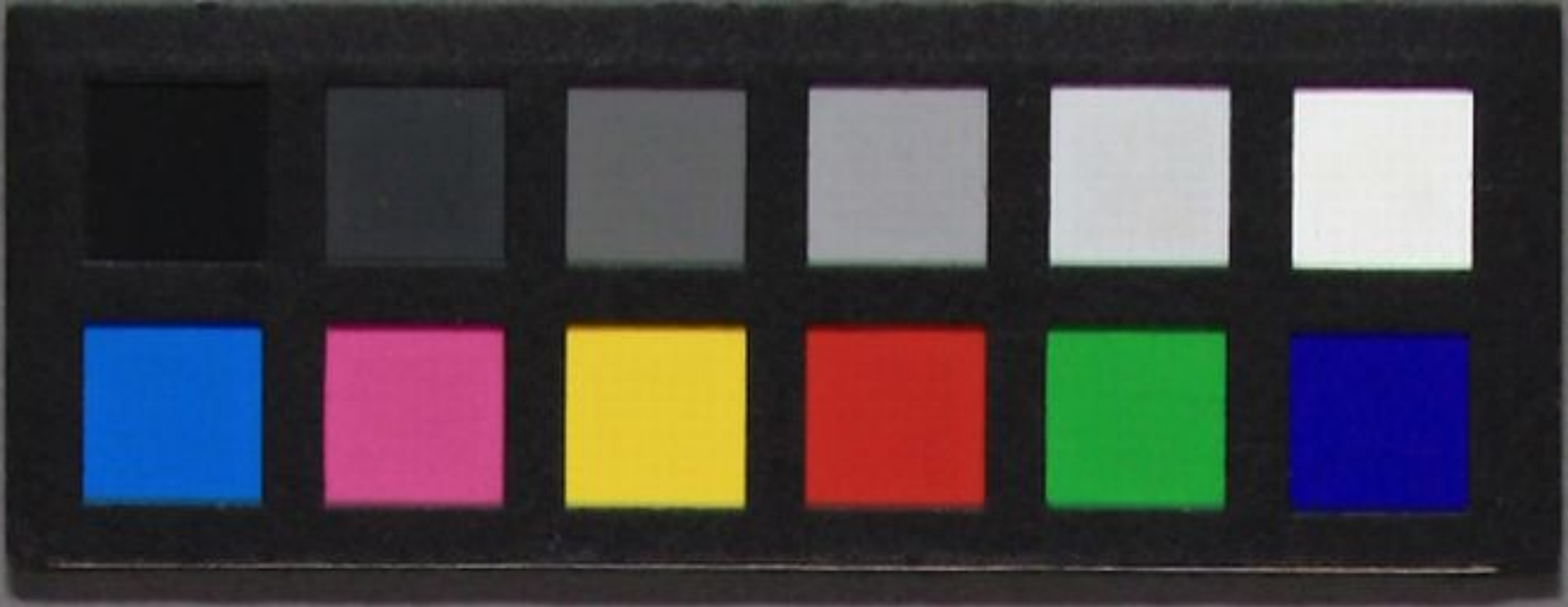


佐野喜

五五 夢國







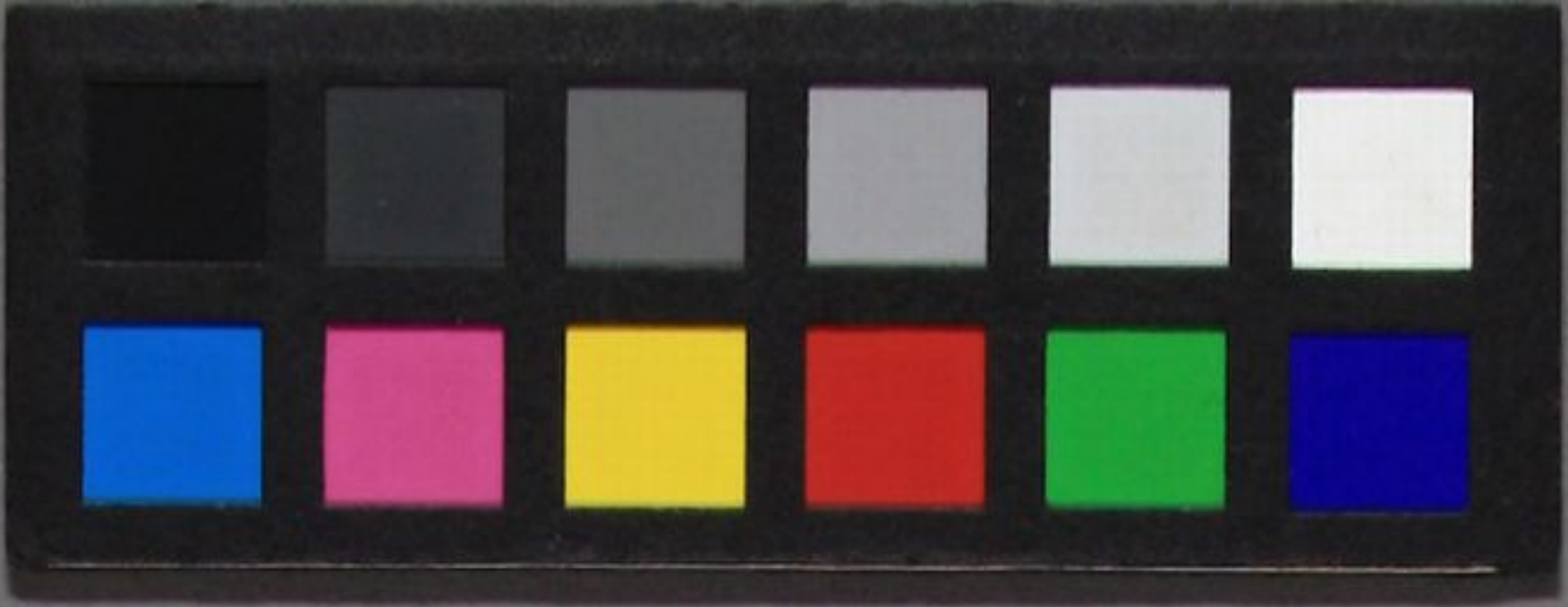
やうり本  
罌

下毛  
今泉有門  
そんけいもふりむ  
たのりふりむ  
うけ  
なめりふりむ  
うけ

西五國

佐野喜





東屋

五

あるまじき  
まじき  
海の袖をるる  
人やまむ  
黄花樓 呈成

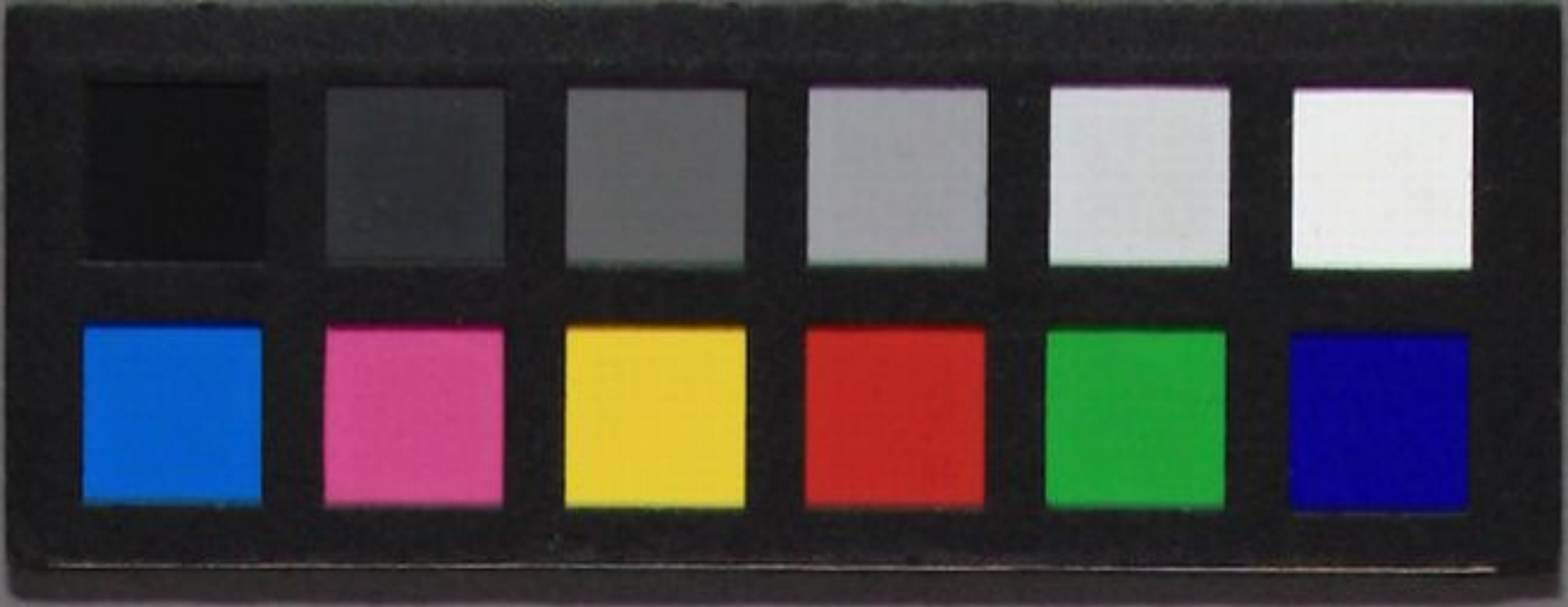
尚

重三

曲多園

佐野喜





浮舟

五十一

橘枝小崎も

さきまら川もきぬ

うしろねも

たのまれぬ

う那

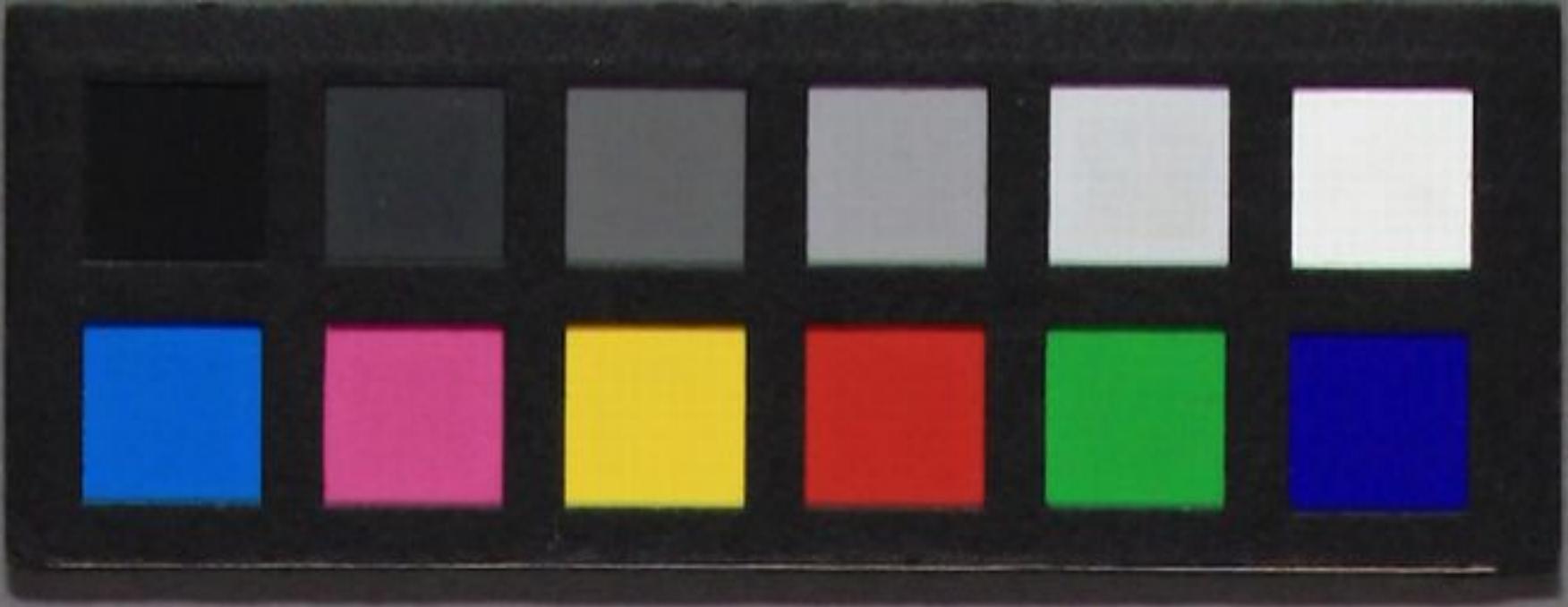
巖松下徳児



豊島屋

佐野喜





蜻蛉  
五三

二五驛長丹鶴  
かへろよの  
石山てん  
あまのま  
あまのま  
あまのま

曲五五同包

志

庫三

佐野喜





手習

巻三

山寺の門田ゆき  
 けし新アまん  
 佛は  
 みろむあし  
 こころすそ  
 深川堂由多加

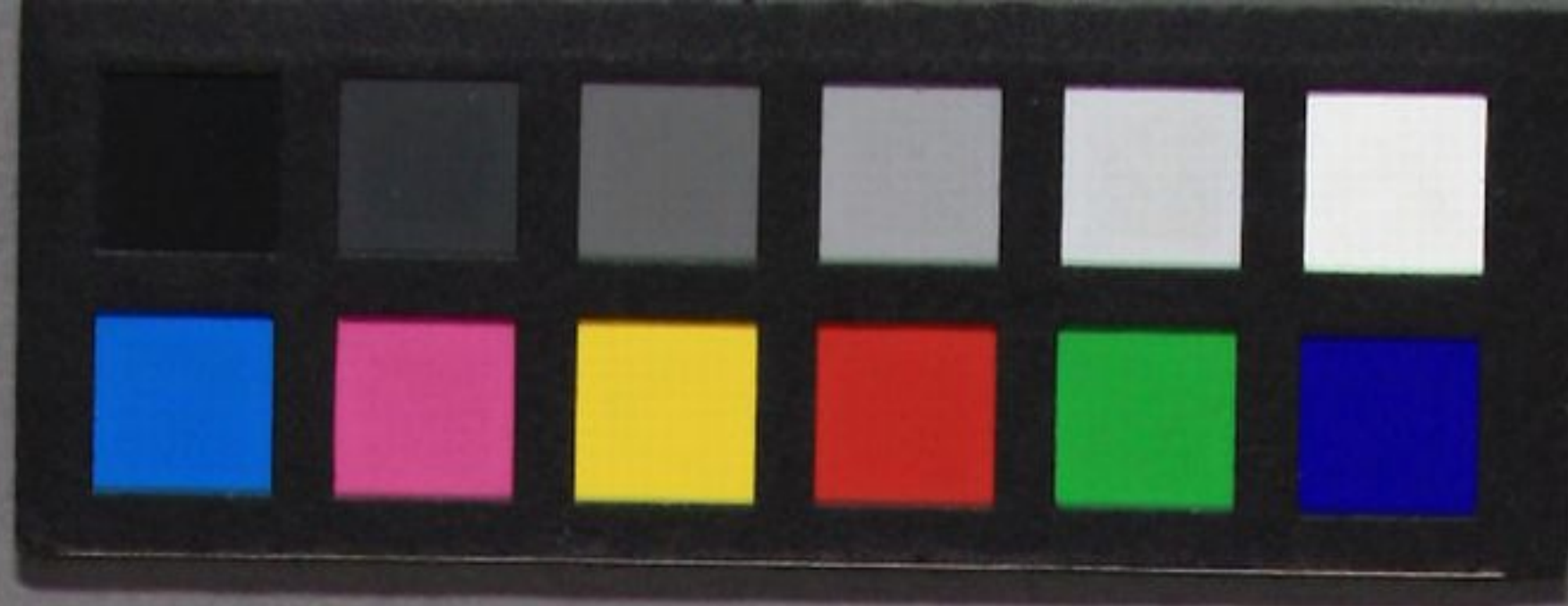


佐野喜

豊岡屋

巻三





夢の浮橋 五十四

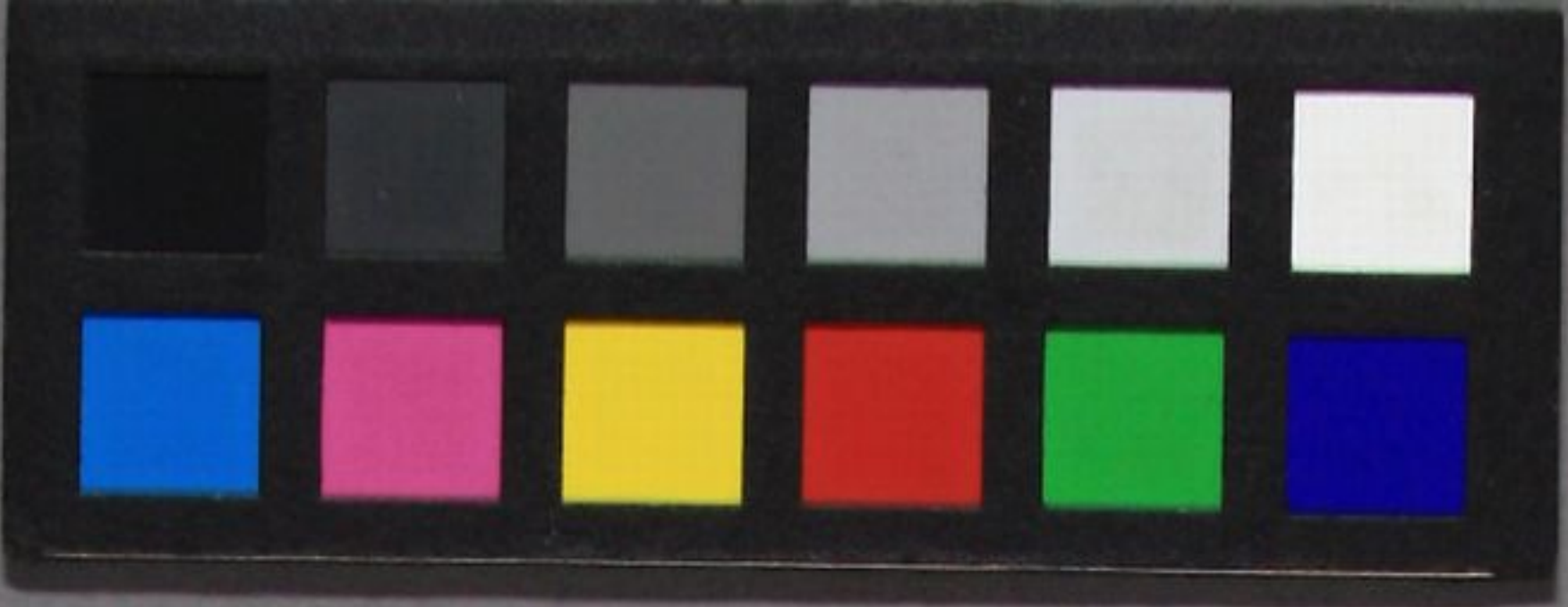
うきうき  
ふかふか  
つたね  
けれ  
まをり  
夢のうき  
橋はもや  
夢中庵胡蝶



佐野喜

夢の浮橋 五十四





五十四帖の物語を俚語に譯したる風流源氏若草紅白等をとりて  
 他事小翻案し都の辰巳が親あなをききとらんこも今よりなれば画も  
 詞も古めく華美よあれは児女子の目も昔離りけくさち如きえん折  
 武藏野のまき草小名あり京鹿子小對して南世も江戸此を賞翫す故翁も小  
 眼もあ更に准據の長篇なり花洛を田舎に寫繪も色の由縁は他は蘇花あり  
 なぬ上の画工も世并戸の曲は名事誇るるを愛さん後醍醐帝の一言はわい  
 焦るひん菟道の姫君のせははるる傍業のて今似の多き終らりき錦繪も  
 是れおれどつれも花菖蒲杜若此一種の宮中形の本萩はきく拙書に別更り丹誠を  
 凝し是れを新し補ひ目熟るるを珍しくするが老練七十餘りてかくも若草は  
 艶しきこそ終るぬ真蹟ふよ予が遠近の朋友漫吟を題し画ありて後ある花小  
 葉あたまやうめいよのふるるいそむんよ附驥の言評哉希の草いあぐのふあや

笠亭仙果

